

令和3年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会

1 開催日時 令和3年7月2日（木）午後2時開会

2 開催場所 長浦おかのうえ図書館 3階 大会議室

3 出席委員

委員長	吉村 真理子	副委員長	北原 政志
委員	山田 真衣	委員	井芹 和美
委員	小林 君代	委員	大野 俊江
委員	津村 千鶴子	委員	星野 裕司
委員	光武 賢一郎		

（欠席委員） 高橋 和子 委員

3分の2以上の委員が出席であり、袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則第3条第2項により本協議会は成立とする。

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	中央図書館長	藤尾 善之
長浦おかのうえ 図書館長	須田 紀子	中央図書館 庶務班長	今坂 公一
中央図書館 奉仕班長	堀野 仁美	中央図書館 主査	上村 千恵

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	3人
傍聴人数	0人

6 議 題

- （1）正・副委員長の選出について
- （2）令和2年度図書館サービス状況点検・評価について
- （3）令和3年度子ども読書週間記念行事の実施結果について
- （4）その他

7 報 告

- (1) 令和3年度図書館経営方針及び重点施策について
- (2) 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について
- (3) 袖ヶ浦市総合教育センターの移転について
- (4) その他

8 議 事

議題（1）正・副委員長の選出について

事務局（今坂）： 議題1につきまして、委員長等選出前のため仮議長をたてて審議します。仮議長は中央図書館長の藤尾でよろしいでしょうか。

各委員： 拍手により承認

仮議長（藤尾館長）： 令和2年度第3回の図書館協議会において第18期の委員長、副委員長を選出する予定でしたが、緊急事態宣言の発出により書面会議となりました。書面会議で選出を行うのは適切でないことから、今回の会議で選出させていただくものです。事務局の今坂から、図書館協議会運営規則について説明してください。

事務局（今坂班長）： 次第の2ページのとおり、袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則の第2条、第3条により委員長及び副委員長の選出を行います。

仮議長（藤尾館長）： それでは、ご意見ありましたらお願いします。

光武委員： 委員長に吉村委員、副委員長に北原委員を推薦します。

仮議長（藤尾館長）： 光武委員より、委員長に吉村委員、副委員長に北原委員とのご意見がありました。他にございますでしょうか。

大野委員： 光武委員と同じく、委員長に吉村委員、副委員長に北原委員がよろしいかと思いますが、事務局のご意見があればお伺いします。

仮議長（藤尾館長）： 大野委員から、光武委員に賛成とのご意見がありました。事務局としましては、お二人の委員のご意見のとおりでよろしいかと思いますが、他の委員の皆さんはいかがでしょう。

他委員： 拍手で承認。

仮議長（藤尾館長）： ありがとうございます。それでは第18期図書館協議会委員長を吉村委員に、副委員長を第17期に引き続き北原委員にお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（今坂班長）： 正・副委員長が選出されましたので、以降の議事進行は吉村委員長にお願いいたします。

議題（2）令和2年度図書館サービス状況点検・評価について

吉村委員長： サービス内容ごとに事務局から説明して頂き、それに対して委員の皆さんのご意見、事務局からの回答を受け、まとめていくという流れで進めていきます。それではサービス内容（1）の資料及び情報の収集、提供等について事務局から説明をお願いします。

事務局（今坂班長）： まず評価基準、評価方法についてご説明します。資料の3ページをご覧ください。昨年度はコロナ禍ということで臨時休館が95日あり、295日を予定していた年間の開館日数が200日となりました。このことを受けて点検・評価の評価方法、評価基準を4ページのとおり、一部変更しました。実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業等は評価不能とするものです。（引き続き、サービス内容（1）について説明。）

吉村委員長： ありがとうございます。皆さん、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

光武委員： 評価基準や方法が一部変わったとの説明がありました。この評価基準は以前はなかったものです。内部評価では条件が整わないとして評価不能としていますが、色々解析や考察もされており、評価はしているものと思われます。これを全てまとめて評価不能とするのは結果として残念です。今回は開館日が予定より95日減っていますが、開館日の減に影響を受けないような項目、例えば資料購入等は評価をしています。目標値に挙げているのに評価できないという項目については、目標値の100%で評価しない等、95日活動ができなかったことを考慮した評価方法を取り入れても良かったのではないのでしょうか。評価不能とするのではなく、目標よりは少なかったけれどこれだけ取り組んだというような評価も出来たと思います。

事務局（藤尾館長）： 図書館の内部評価では、評価基準が曖昧にならないように、数値目標のある項目の達成率がどうだったのか、サービス内容ごとに平

均値を出して全体評価としています。昨年度は2度の臨時休館があり、開館中も滞在時間の制限や館内ビデオ視聴等の停止を行ったほか、一部の読書普及事業については年間を通じて実施できなかったものもありました。コロナ禍の影響を評価方法や基準等についてどう反映させるか色々検討しましたが、教育委員会の点検・評価に倣い、このような評価方法としました。図書館として実施した、達成率のみでは図れない様々な取組については「取り組み内容」の中で説明しています。また、別綴じの参考資料では、評価不能とした項目についても目標値に対する達成率を載せ、令和2年度の備考欄には目標達成に影響のあった事項を記載しました。本日の図書館協議会では、達成率だけでなく様々な取組も含めてご意見をいただき、その内容を外部評価として公開していくことになります。

星野委員： コロナ禍で昨年度、今年度と目標値と実質的な評価がかけ離れた結果が出てくるのではないかと思います。この点検・評価を公開するのが9月末ということであれば、千葉県公共図書館協会のデータがそれより早く出ると思いますので、近隣市の同じ様な事業と比べての評価もできるのではないのでしょうか。そうすることで袖ヶ浦市が努力してきたことの評価にもつながると思います。

事務局（藤尾館長）： 令和元年度のものになりますが、県内の公共図書館のサービス指標をランキングにまとめた数字については、別綴じ参考資料の12ページに、県内において袖ヶ浦市がどのくらいの位置にあるのかという資料を掲載しております。9月時点では県で公表していない場合もあり、点検・評価そのものに記載することは考えておりませんが、今回の資料は図書館協議会の議事録と併せて公開されますので、一般の方にも参考にしていただけるものと考えています。

吉村委員長： 他にご意見ございますでしょうか。

星野委員： 資料についての数値を見ると、袖ヶ浦市が頑張っていることが伺えます。資料の5%の更新が計画的に行われていることは非常に素晴らしいことであり、本がリフレッシュしていくという観点においてとても良いことです。その他の取組として、お楽しみ袋等でのセット貸出など準備も大変だと思いますが、そういった取組について毎年継続されているところも評価したいところです。お願いしたいこととして、社会情勢を表す言葉として5ページに少子高齢化という表現がありますが、図書館においては少子高齢化とともにデジタル化や携帯端末ツール、いわゆるスマートフォンや電子図書などに関わる記述も必要だと思います。もう1点、他の委員さんのご意見も伺いたいところですが、20代から50代の利用減について何か所かに記述があります。そこに対して

力を入れたいということだと思いますが、この世代は本を買う世代であって借りる世代ではないと思います。また世の中が多様な時代で1つの本を読むことで足りる時代ではなくなってきており、人によって視点がまるきり違ってくる時代でもあります。図書館ではシルバー支援、ビジネス支援といったものを取り入れるのが流行的になっていますが、多様化の時代に20代から50代に向けてのビジネス支援について図書館で追っていけないのではないかと危惧しております。そのために利用者の要望に応じた新しい資料を多く揃えることに主眼を置くのではなく、20代から50代への向き合い方を再検討すべきではないかと考えます。もしここに力をいれるのであれば、資料費の中での上限を設けることや特別の予算を考慮し手厚く資料を揃えることで、特色として主張していきやすくなると考えます。

吉村委員長： 課題、今後の対応にも記載されているところですが、他の方がいいでしょうか。

山田委員： 星野委員のお話の中にあった「借りるよりも購入が多い」というのは高校生も同じで、アルバイトやお小遣いなどで高額な本でも購入して、それを図書室で読んでいる様子も多く見受けられます。学校としても最新、人気の図書を提供できるよう、書店などで人気の本を調べたりしながら選書していますが、実際には図書室にある本でも購入して読んでいる子も目立ちます。予算に限りがあり難しい面もありますが、買わなくても図書館にあって読めるということが若い世代にも浸透していくといいと思います。

吉村委員長： 他にいかがでしょうか。

井芹委員： 小中学生の読書の様子をみていると、確かに購入していることも多く、その本について生徒から聞かれることもあります。小学校低学年の児童は図書室に入った新しい絵本等とても喜んでいきます。図書館では児童書、絵本の選書はどのように行っているのでしょうか。

事務局（堀野班長）： 基本的には図書を購入している図書館流通センターが発行している資料全点案内に掲載されている内容を確認、また千葉市にある児童書の専門店で現物を確認した上で選書しています。また出版社が現物選定として図書館に来館する機会がありますので、そういった場も活用し、できるだけ内容を確認して選書するよう努めています。

井芹委員： 学校図書館は選書が年2回しかないため、中央図書館も含め他の図書館の本を参考にして選書するようにしています。これは個人的な意見ですが選書が偏っていて、最新のものが少ないように感じることがあります。外部

からの意見も取り入れて購入していただけると有難いなと思います。

事務局（堀野班長）： 袖ヶ浦市の図書館では選書基準を設けており、その基準にそって選書を行っています。外部の意見を取り入れることが可能かこの場ではお答えできませんが、リクエストも受けていますので、そういったところから市民の意見や希望を伺って購入することは現在も行っております。

吉村委員長： コロナ禍の中、長期の臨時休館中にレイアウトや書架の配置を市民の使いやすいように見直す等の努力が、これからに活かされていくと思います。

星野委員： 個人的なお願いになってしまうかもしれませんが、書棚が4段、5段のものを多く使われていると思いますが、1番下の棚の本はほこりをかぶりやすい、利用者からすると選びにくいということがあります。こういったことから1番下の棚はメインで使わずなるべく空けておくの良いと考えます。開架図書が減るので、開架図書の更新率も上がるのではないのでしょうか。児童図書の量を考えると難しいかもしれませんが、一般書架で見直しができるのではと考えました。

事務局（藤尾館長）： ほこりをかぶりやすいという点については気を付けていきたいと思います。また、高齢の方や妊娠中の方などから、1番下の棚は本を取り出しにくいという声を聞くことはございます。限られたスペースの中でできるだけ本を置きたい部分との兼合いもあり難しい面もございますが、できるだけ下の棚に本を置かないよう努力したいと思います。

大野委員： 他市では貸出のない本もあると伺ったのですが、袖ヶ浦市ではそういった本はどのくらいあるのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 袖ヶ浦市でもありますが、数は把握しておりません。

大野委員： せっかく選んだ本なので、貸出のない本にスポットをあてる機会を作ってみてはどうでしょうか。福袋などのセットに入れてみても良いと思います。

吉村委員長： それではサービス内容（2）社会情勢の変化に応じたサービスの充実について、事務局から説明をお願いします。

事務局（今坂班長）： サービス内容（2）について資料に基づき説明。

吉村委員長： それでは委員の皆さん、ご意見ございますか。

井芹委員： 学校では今年度からタブレットが配布されました。インターネットの利用もできるので、タブレットを使った図書館の本の予約の方法など図書館から学校に指導にきていただくことは可能でしょうか。

事務局（藤尾館長）： 図書館ホームページの使い方について学校へ指導に伺うということですね。

井芹委員： 昭和小学校では6年生が「未来へはばたけ！マイ卒業論文」に取り組んでおり、図書館で資料を借りることが多いです。中央図書館にはすぐ行くことができますが、その前に資料の検索を行います。今までは学習用のパソコンを使用していましたが、タブレットがあるのでそこから直接予約をして取りにいくようなスタイルに変えていくができると考えているのですが、いかがでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 実際にできたら素晴らしいことですが、職員体制のこともあり、残念ですが、すぐに実行することは難しいと思います。図書館のホームページには子ども向けのページもありますし、検索や予約の画面も大人用と子ども用で使い分けできるようになっておりますので、その他の方法も含めて検討させていただきます。

北原委員： 図書館の職員が個々に学校に出向く方法は難しいと思いますので、学校司書の研修会場で教わり、学校で生徒に教えられるようにするのではないのでしょうか。

光武委員： ホームページの操作はとても簡単ですので、先生方が何人かのお子さんに教えれば子ども間で広がるような気がします。

事務局（藤尾館長）： 北原副委員長からお話のありました学校司書の研修会には、図書館の担当者が先日出席させていただきました。今後お時間をいただければ、図書館のホームページや操作方法等、学校司書の皆さんへ説明することはできると思います。学校図書支援センターにも相談してみたいと思います。

星野委員： 以前勤めていた学校に公民館図書室が併設されていました。学校側から図書室に予約の方法等を子どもに教えることで子どもが学校帰りに本を借りられるということを伝えました。そういった仕組みを知ることは、子どもの情報教育や金銭教育にも役立ちます。また図書館で本を借りるにはカードが

必要で、きちんと返却すれば次のものが借りられるといったところも、これからの世の中の仕組みを子ども達に教えるという面で大切なワンプロセスになると思います。

津村委員： 10ページに「学校司書が図書館を利用できないことから」という記載がありますが、学校司書はどのくらいの頻度で図書館を利用しているのでしょうか。利用頻度が多いのであれば、図書館の職員に準じて休館していても利用できる等の配慮があっても良いかと思いました。

事務局（藤尾館長）： 学校図書館と市の図書館の間は週1回宅配車が巡回しており、学校から依頼のあった資料を提供しています（以下「物流」と記載）。貸出期間が一般の利用者より長くなることと貸出冊数が多いことから、物流で貸出できるのは書庫の資料のみとしており、開架書架にある新しい資料を借りたいときは、来館していただき学校司書のカードで借りていただいています。コロナ禍での1度目の臨時休館の際は学校も休校しておりましたし、緊急事態宣言により外出を控えるということもあり学校司書の方も図書館を利用できない状況でした。2度目の臨時休館の際は、学校では授業を行っていたので、休館中に限り開架図書も物流で貸出できるように、一時的に取扱いを変更して対応したものです。

津村委員： 学校は先程のお話のような対応で大丈夫でしょうか。

井芹委員： 1度目の休館中は全く利用できませんでしたが、学校も休校中でしたので仕方なかったと思います。2度目は学校図書館の利用カードでの予約や開架の資料も借りることができて、とても便利で助かりました。

星野委員： 1点お願いと1点これからの課題としてお話させていただきます。まず全体をみたときに、コロナ禍で対面的なサービスについて評価ができない、評価が低いという結果が出ていると思いますが、内容的には非常に素晴らしく頑張っていることが伺えました。一方で、対面サービスができないということは、WEBをどう利用していくかというところに繋げられるチャンスでもあると思います。ワンストップサービスとして、WEBで予約した本を受け取りに来る、もしくは有料宅配サービス、そういったものに繋げられるような、利用者がインターネットを通して利用できるサービスを拡充していくチャンスとして活かさないかという点が、コロナ禍でも対応、伸びが期待できる数値になってくると思います。

レファレンスについては、図書館のもつ専門性として非常に大事なところですが、数値的にはコロナ禍で減っているのは仕方ないところですが、今までのレファレンス事例を袖ヶ浦ではどのようにして蓄積されているのでしょうか。

事務局（堀野班長）： レファレンスについて、その場で対応し解決したものはクイックレファレンスとして一覧表を作成しています。質問を一旦預かって対応するものについては、受付した内容をレファレンスシートに記録して保管していますが、改めて事例という形で取りまとめはしていないのが現状です。

星野委員： レファレンスはこれからの図書館の顔であり、武器であり、専門性を持つという面で重要な役割を担っていくものです。事例の蓄積はしているようですが再利用、以降に活かしていないことが気になりました。このままでは誰もが同じようにレファレンスに対応できる、また解決のための糸口をつかめるといことが難しいのではないのでしょうか。職員によって対応が異なるということがなく、誰もが糸口を見つける、同じように導けるというシステム構築について検討が必要だと考えます。袖ヶ浦の図書館の業務用システムの構成がわからないのですが、千葉市の場合は対応した事例について、どのように調査し解決していったかという内容がデータベースで検索できるようになっていますので、ベースになるシステムは違いますが、NECのシステムを利用していますので、1度問い合わせしてみても良いと思います。また、毎年新しいおすすめ図書リストやパスファインダーを作成しているということも報告されていますが、これはレファレンスと直結する問題でもありますので、職員のレベルアップのためにもこれからも続けていただけたらと思います。

事務局（藤尾館長）： クイックレファレンスで問い合わせに対して使用した資料や回答内容は一覧にまとめており、公開はしていませんが、職員内での共有は図っております。千葉市では図書館のシステム内に構築されているのでしょうか。

星野委員： 千葉市では10年程前にシステムにレファレンスの機能を付加しており、そこへ蓄積しています。5,000件程の事例の中から単語や書名を入れることで類似した項目等の検索ができるようになっています。項目を選択すると使用した資料や資料のページ数なども確認することができ、全ての業務端末から利用できるようになっています。

事務局（藤尾館長）： 機会をみて調べてみたいと思います。

吉村委員長： それではサービス内容（3）利用者に応じたサービスに移らせて頂きます。

事務局（今坂班長）： サービス内容（3）について、資料に基づき説明。

吉村委員長： 質問等いかがでしょうか。

津村委員： ブックスタートについてですが、資料の17ページに、今後の対応として保護者への周知を図るとありますが、昨年度は4か月児教室がなかったことから、実施率がとても低くなりました。ブックスタートに限らずですが、図書館で実施しているサービス等について市民への周知は具体的にどのように行っているのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： まずブックスタートについては健康推進課で発送する健診等の通知に案内チラシを同封しています。また広報そでがうらやツイッターによる周知も行っています。4月からは図書館でもブックスタートを行っておりますが、市役所職員向けの掲示版等による周知も行いました。

津村委員： 全体的な印象として、周知が上手くいっていないような気がします。図書館に興味がない人はツイッターも見ないし、若い方は新聞を取っていない人も多いと思うので広報を目にする機会もないと思います。多くの人の目にとまる場所として、スーパーの掲示板等利用してもいいのではないのでしょうか。

事務局（堀野班長）： 健康推進課の通知にチラシを同封しているという説明の補足になりますが、それに加え、保健師が行っている新生児訪問の際にも、保護者に対してブックスタートについて説明してもらっております。

吉村委員長： 4か月児教室は健診とは違うもののでしょうか。健診のプログラム内にブックスタートパックの配布を設けて実施しているところもあるようですが、そういった方法は難しいのでしょうか。

事務局（堀野班長）： 袖ヶ浦市での必須の乳幼児向けの健診は1歳半と3歳になり、以前は1歳半健診時にブックスタートを実施しておりましたが、健診担当課である健康推進課の負担が大きいということから、4か月児教室での実施に変更になりました。4か月児教室は対象者への案内は行っていますが、必須の健診とは異なるものです。

津村委員： ブックスタートボランティアをしておりますが、4か月児教室の1番最後にお引き止めして対応するような流れになっています。

事務局（藤尾館長）： 保健センターで1歳半健診、4か月児教室を実施する流れの中で行うという点は同じです。今ご説明させて頂いたように、4か月児教室は必須の健診ではありませんが、教室に参加した方にはほぼ100%配布

できております。昨年度コロナ禍で中止していた4か月児教室は今年の5月から再開し、これに伴いブックスタートも再開しました。

吉村委員長： もし配布を徹底したいということであれば、健診会場で実施の方が効果的だと思います。ブックスタート事例は他で伺うこともありますが、健診担当と図書館が組んで実施しているところも多くあります。徹底するということですので、就学時健診などをみると対象者全員が必ず受けると思いますが、4か月児教室に参加される保護者の方は意識が高い方が多いと思いますので、そういった方だけでなく対象者全員に、もしかしたら絵本に触れないことになってしまうかもしれないご家庭にも本をとという目的の達成にも繋がるかと思いますので、必須の健診の場を利用するという事を検討して頂ければと思います。

事務局（藤尾館長）： ブックスタートの進め方等は常に健康推進課とも相談しながら行っていますので、これからも相談していきたいと思います。

星野委員： 色々と頑張って取り組んでいる中で、おすすめ図書リストが計画的に作成されたという事は素晴らしいことです。希望も込めての意見となりますが、高齢者対策の中で大活字本や朗読CD等に触れていただけるのは大変難しいことですが、逆に借り手が減っているという問題もあると思います。大活字本をどの位の方が知っているか不明な点もありますが、大活字本は通常であれば1冊の本が3～4巻に分かれていること、重くて運びづらいこと、購入する側としては価格が高い、タイトル数が少ないと問題点もあり、1回手にした方が次の利用に繋がっていないことも多いと思われます。例えば電子図書にしまえば、文字の大きさは変えられます。高齢の方は文庫本の時代小説を好む方が多いと思いますが、それらは今10ポイント構成のものが多くなっています。安くて、軽くて、何冊も続くものが多く、こういったものに比べると大活字本の利用が増えないのは仕方がない面もあるかと思います。また大活字本の利用促進について考えた時に、現在朗読CDは視聴覚資料として排架されていると思いますが、これを大活字本と同じ書架に排架することはできないのかと考えました。もう1点ですが、高齢化社会への対応として「医療、介護、健康」といったテーマが挙げられる事が気に係ります。できれば高齢者が社会に参加し、寄与できるようなジャンルの資料も加えて取り組んでいただけると有難いです。

事務局（藤尾館長）： 臨時休館中に、これまで視聴覚コーナーにあった子ども向けのCDを長浦おかのうえ図書館以外は児童コーナーに置くようにするという見直しを実施しました。同様の見直しを高齢者向けに、ということになると思いますが、館によって状況が異なります。レイアウト的に可能かどうか検

討してみたいと思います。高齢者向けのテーマとして、認知症や介護だけでなく前向きな内容のものが多いというのはサービス網計画策定時に委員からの意見にあがりましたので、他に生きがいづくりや健康といったテーマも含めて計画内にも盛り込みました。点検評価内にも度々でておりますが、中央、長浦、平川の3館で月ごとにテーマを決め、特設コーナーを設けて資料を紹介しております。その中でもビジネス支援等勤労者向けや高齢者にも興味をもってもらえる健康に関するテーマ等も紹介していきたいと思います。

吉村委員長： 資料17ページの今後の対応に、おはなし会ボランティア養成講座初級編を開催するにあたり若い人にも興味をもってもらえるように広報する、とありますが、ボランティアの養成は他でも出てくる課題だと思います。袖ヶ浦高校の生徒さんたちはこういった講座を受けられたりするのでしょうか。

山田委員： 学校側としては生徒向けに講座を開催していただけると大変有難いです。毎年夏に保育所や図書館で読み聞かせをさせていただくにあって、6月に読書ボランティアの方、学校図書館支援センターの方に学校へ来校していただき、生徒が読み聞かせを聞くという機会を設けています。今年は50名程度の生徒が参加しました。図書委員会は例年1年生の時に図書委員になった生徒が、読み聞かせをやりたいという希望でそのまま3年時まで続ける生徒が多数います。その中でも進路として司書をあげる生徒もいますので、このような講座が受けられることは将来にもつながっていくことになると思います。高校生のうちに読み聞かせを体験した人が親になったとき、また読書ボランティアをやりたいというような子もでてくると思います。学校としても、是非高校生向けの講座を開催して頂きたいと思います。またホームページやツイッターでの広報の他、学校へのポスター掲示もお願いします。

吉村委員長： 袖ヶ浦高校にはボランティアの方がいらっしゃっているんですね。講座を受けた学生が読み聞かせを実施できる良い取り組みです。

山田委員： 高校生は6月は部活の大会の開催、参加が多く、ボランティアと兼任の生徒は取り組み時間の兼合いが難しいということもあります。図書館でも講座を開催して頂けると、学校での講座に参加できない生徒も参加できるので是非検討していただきたいです。

事務局（堀野班長）： 予定している養成講座の初級編は、秋の平日に開催する準備をしておりますが、袖高の生徒さん向けということになると土日や放課後の開催が必要かと思います。図書館での読み聞かせ等にも参加していただいていますので、何らかの形でバックアップすることができればと考えますが、こういった形であればできるのか検討させていただきます。

事務局（藤尾館長）： 図書館で今年度実施するボランティア養成講座は、図書館のボランティアの活動体制を充実させるため、学校や保育所等へ出張おはなし会で読み聞かせに行っていただける方の養成を目的としたもので、山田委員のご意見にあった、図書館や司書に興味のある学生を対象に開催するものとは趣旨が異なります。ただ、おはなし会ボランティアの方に袖ヶ浦高校の生徒さんに読み聞かせの指導等をしていただいているということは、図書館としても重要なことだと考えておりますので、学校との連携の一つとして、機会を設けていけるかを今後検討していければと思います。

吉村委員長： 議題（３）の子どもの読書週間記念行事について、事務局から説明をお願いします。

事務局（堀野班長）： 議題（３）について、資料に基づき説明。

吉村委員長： ありがとうございます。それではご質問、ご意見いかがでしょうか。

大野委員： 今年は市政施行３０周年という事もあるのか、記念品がとても良いものだったと思います。市販のものでなく、いつも手作りのもので今年は特に素晴らしいもので、職員のご苦労が伺えました。

北原委員： １日当たり６８４冊の貸出ということでかなり多いですが、子どもたちだけの来館も多いのでしょうか。それとも保護者も一緒でしょうか。

事務局（堀野班長）： 多くのお子さんは保護者と一緒に来館しています。スタンプラリーは返却した図書１冊に対して１つスタンプを押して、集まったスタンプの数によって景品がもらえるという流れになっており、期間中は貸出冊数の上限を１５冊から２０冊に増やしましたので、保護者と一緒に来館し、保護者のカードも使って沢山本を借りる様子が見られました。

吉村委員長： それでは議題の審議が終了しましたので、進行を事務局へお返しします。

９ 報告事項 以下３点について資料に基づき説明。

- （１）令和３年度図書館経営方針及び重点施策について（堀野班長）
- （２）袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について（今坂班長）
- （３）袖ヶ浦市総合教育センターの移転について（藤尾館長）
- （４）その他

津村委員： 総合教育センターについて、新たに建設予定はないということでしょうか。また移転後は取り壊して更地にするのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： のぞみ学級の生徒の安全を早急に検討するということで、長浦おかのうえ図書館への移転が決まりました。新たな総合教育センター建設の予定はありません。現在の総合協教育センターの建物は、一部を市役所の書庫として使用していますので、移転後すぐには取り壊しになりませんが、将来的には取り壊しになるものと思われます。

井芹委員： 学校図書館支援センターも一緒に移転するのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： はい、図書館支援センターも含め、総合教育センターの機能全体が移転することになります。

事務局（藤尾館長）： その他の報告事項として、夏休み期間中の学習スペースの提供と令和3年度公民館図書室の運営について説明。

大野委員： 学習スペースの資料で根形公民館の図書室は火曜日、木曜日となっていますが、職員在室日は水、金、日曜日だと思います。職員がいない日を自習スペースとして利用できるということでしょうか。平岡公民館の図書室は火曜から金曜まで毎日利用できることとなっていますが、両館の利用日の違いには何か理由があるのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 夏休み期間中の利用について公民館と相談した際に、根形公民館は職員在室日には閲覧席の利用が多いということから、利用が少ない専任職員の不在日のみ自習スペースとして利用可能としました。平岡公民館の図書室は根形に比べてスペースに余裕があることから、公民館からの提案で図書室内に自習用スペースとして長机を配置し、火曜から金曜まで職員在室日でも利用可能としました。土日は図書室まで公民館職員、管理人の目が行き届かないという理由で、両館とも図書室の自習スペースは利用不可としました。公民館のロビーについては毎日利用が可能です。

大野委員： 私は平岡地区に住んでいますが、地元の方から公民館図書室の専任職員配置が隔日になったことについて、将来的に公民館図書室を廃止する方向に動いているのではないかという話を伺っています。公民館図書室を良く利用されている方です。また根形公民館に行くと図書室が閉まっていて借りづらいという話もあります。職員がいないということであればその状況に慣れていくのかもしれませんが、隔日である日とない日があり利用できるサービスが

異なるところも分かりにくくなっています。専任職員がいない日は出来ないサービスがあるということは来室した利用者に対しても失礼にあたるのではないのでしょうか。カレンダー等には利用できるサービス等明記されていますが、ここまでしっかり読んでいく人ばかりではありません。そういった対応が上手くできているのか心配です。

事務局（藤尾館長）： 公民館図書室の職員配置が隔日になってしまったことで、図書室の利用が減ってしまっていることは確かで、貸出冊数は根形、平岡とも令和元年度と比較すると30%前後利用が減っています。在室日と不在日でサービスが異なることについてですが、資料にも記載させていただきましたが、職員不在だから閉めてしまうということではなく、公民館職員や管理人さんの協力を得て、あまり公民館の負担にならない範囲で貸出や予約資料の受け渡しを行っています。図書館としても、館内の掲示やホームページ等で引き続き周知を図り、対応していきます。

大野委員： 例えば宿題おたすけコーナーですが、夏のトシヨロ月間のチラシを見ると、公民館図書室でも開催となっています。職員不在日でも調べ学習等で来館する親子等もいると思うのですが。図書館の職員体制のこともあります。手伝い等出せないのであれば、チラシの開催館から図書室を削った方がいいのではないのでしょうか。行ってもできないというのはクレームが増えると思いますが、どのようにお考えでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 今お話しにあった宿題おたすけコーナーについては、宿題に役立つ本を集めたものなので、職員不在日でも本を借りることはできることから、チラシにも掲載しています。

大野委員： レファレンスが大切というご意見がありましたが、実際に公民館図書室でも資料の相談等に応じていると思います。相談ができないということはサービスの低下になると思います。利用できるサービスが少なくなり、いずれ閉室になるのではという話を聞くこともあります。

事務局（藤尾館長）： 現時点では、今後の公民館図書室の運営について結論がでておりません。日によって利用できるサービスが異なる面もありますが、逆に本を借りることは毎日できるということでもあります。今後も公民館、図書室の現状を見ながら、来年度以降の運営について考えていく必要があります。

大野委員： 公民館図書室に行っても用が足らない人がいないようなサービスをお願いしたいと思います。

事務局（藤尾館長）： そういった対応策についても検討していきます。

津村委員： コロナ禍の臨時休館中の対応について、色々と考慮いただきありがとうございました。１度目の休館中は貸出ありませんでしたが、２度目の休館中は予約の本を借りることができ大変助かりました。周りでも本が借りられて助かったという話を沢山聞きました。

事務局（今坂班長）： それではこれをもちまして、令和３年度第１回図書館協議会を終了します。ありがとうございました。

１０ 閉会のことば

午後４時２０分閉会

令和3年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会次第

令和3年7月2日（金）

午後2時から4時まで

長浦おかのうえ図書館 3階 大会議室

辞令交付式

自己紹介

次第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 議 題

- （1）正・副委員長の選出について
- （2）令和2年度図書館サービス状況点検・評価について
- （3）令和3年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について
- （4）その他

4 報告事項

- （1）令和3年度図書館経営方針及び重点施策について
- （2）袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について
- （3）袖ヶ浦市総合教育センターの移転について
- （4）その他

5 閉 会

議題（１）正・副委員長の選出について

第１８期袖ヶ浦市立図書館協議会委員名簿

氏 名	性別	選出区分	備 考
きたはら まさし 北原 政志	男	学校教育 平岡小学校校長	２期目
やまだ まい 山田 真衣	女	学校教育 袖ヶ浦高等学校実習助手	２期目
いせり かずみ 井芹 和美	女	学校教育 昭和小学校学校司書	１期目
こばやし きみよ 小林 君代	女	社会教育 おはなし会ボランティア	１期目
おおの としえ 大野 俊江	女	社会教育 公民館運営審議会委員	４期目
つむら ちづこ 津村 千鶴子	女	家庭教育 子どもる一ふ袖ヶ浦会員	２期目
たかはし かずこ 高橋 和子	女	家庭教育 ファミリーサポートセンター 提供会員、家庭教師	３期目
ほしの ひろし 星野 裕司	男	学識経験 元千葉市立美浜図書館館長	１期目
みつたけ けんいちろう 光武 賢一郎	男	学識経験 郷土博物館市民学芸員	４期目
よしむら まりこ 吉村 真理子	女	学識経験 千葉敬愛短期大学副学長	２期目

任 期 令和２年１２月１日から令和４年１１月３０日まで

○図書館法

(図書館協議会)

第 14 条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第 15 条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

○袖ヶ浦市立図書館設置条例

(図書館協議会)

第 4 条 図書館法第 14 条の規定により、袖ヶ浦市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、袖ヶ浦市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

3 委員の定数は、10 人以内とする。

4 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

○袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、袖ヶ浦市立図書館設置条例第 4 条の規定により設置された袖ヶ浦市立図書館協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(委員長等)

第 2 条 協議会に委員長及び副委員長各 1 名を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第 3 条 協議会の会議は委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 会議は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

議題（２）令和２年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

“図書館は、そのサービス水準の向上を図り、図書館の目的及び社会的使命を達成するため「数値目標」を設定し、各年度の図書館サービスの状況について、図書館協議会の協力を得つつ、「数値目標」の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うとともに、その結果を市民に公表するように努めます。”

「袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画」より

袖ヶ浦市立図書館は、平成２３年３月に策定した「袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画」に基づき、様々な事業を推進しています。

第３次図書館サービス網計画は、平成２３年度を初年度として令和２年度を目標年次とする１０年間の計画ですが、サービス評価指標については、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するために、計画期間を前期と後期のそれぞれ５年に分けて設定し、前期５年間の計画は平成２７年度を以て終了しました。

平成２８年度には「袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画 後期計画（計画期間：平成２８年度～令和２年度）」を策定し、数値目標の一部見直し、新しいサービス評価指標の追加等を行いました。今回は、後期計画最終年度の点検・評価となります。

◎「令和２年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価」

公開までのスケジュール

月	作業内容	進捗
４月	・統計数値等の令和元年度実績を集計する。	○
５月～６月	・図書館としての内部評価を行う。	○
７月２日	・図書館協議会による外部評価を行う。 （令和３年度第１回図書館協議会）	○
７月～８月	・外部評価を取りまとめ、公表するための事務局案を作成する。	
８月	・事務局案について、図書館協議会委員から改めて意見を求め、必要に応じて修正する。	
９月１６日	・図書館協議会委員の了承を得た最終案について、教育部課長会議で報告する。	
９月２９日	・教育部課長会議で了承を得た最終案について、教育委員会で報告する。	
９月末	・図書館のホームページを通じて公表する。	

◎令和２年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価の評価方法について

袖ヶ浦市立図書館は令和２年度に２９４日の開館を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出等により、令和２年３月２５日から５月３１日及び令和３年１月２２日から３月２１日を臨時休館（合計９５日）とし、年間の開館日数は１９９日にとどまりました。

開館時にも感染症予防対策として館内の滞在時間を２時間以内とし、館内ビデオ視聴など一部のサービスを制限したほか、読書普及事業の募集人数や実施回数を減らしたり、予防対策を講じることが困難な一部の事業は開催を見合わせるなど、年間を通じて図書館サービスの遂行に多大な影響があったことを考慮し、以下のような方法で令和２年度の点検・評価を行いました。

１ 評価基準

- | |
|--|
| ４：計画どおりに実施でき、一定以上の成果があった。達成率 100%以上 |
| ３：計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上 |
| ２：課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60%以上 80%未満 |
| １：不十分な点や課題が多く、計画どおりに実施できなかった。達成率 60%未満 |
| －：目標値を達成するために実施予定であったが、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響で評価できる条件が整わなかった。</u> |

２ 全体評価の方法

- ①サービス内容ごとに、サービス評価指標の達成率を合計する。
- ②合計値をサービス内容の指標数で除した平均値を、そのサービス内容全体の達成率とみなす。
- ③サービス内容全体の達成率を、「１」で定めた評価基準に基づき、数値の達成率によって５段階で採点し、全体評価とする。
- ④新型コロナウイルス感染症の影響で達成度に「－」が多く（１施策につき半数以上）、評価不可能な場合は「Ｎ」と表記する。

- | |
|---|
| ４：計画どおりに実施でき、一定以上の成果があった。達成率 100%以上 |
| ３：計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上 |
| ２：課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60%以上 80%未満。 |
| １：不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。達成率 60%未満。 |
| Ｎ： <u>新型コロナウイルス感染症の影響で達成度に「－」が多く（１施策につき半数以上）、評価不能である。</u> |

- ⑤全体評価も数値の達成率に基づいて採点することになるため、図書館協議会からの外部評価については、サービス評価指標以外の取組なども含めた総合的な意見としてまとめ、「図書館協議会からの意見」として公表します。

サービス内容（１）資料及び情報の収集、提供等

令和２年度末想定市人口 64,000 人

令和３年４月１日市人口 65,075 人

サービス評価指標	実績(R2)	目標値	達成率	
①図書購入タイトル数/購入冊数(%)	86.2	90.0	95.8%	3
②蔵書冊数(所蔵図書冊数)	706,278	710,000	99.5%	3
③市民一人当たりの蔵書冊数(冊/人)	10.9	11.1	98.2%	3
④袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊/年)	314	270	116.3%	4
⑤年間利用者数(人/年)	77,506	155,000	50%	—
⑥市民新規登録者数(人/年)	536	1,200	44.7%	—
⑦市民登録率(%)	39.6	60.0	66%	—
⑧資料貸出数(点/年)市外含む総計	331,985	650,000	51.1%	—
⑨市民一人当たりの貸出数(点/人)	5.1	10.2	50%	—

◎平均達成率：９項目中４項目の平均達成率 102.5%・評価不能５項目

（後期計画におけるサービス内容）

「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、資料の整備に努めます。

第３次図書館サービス網計画の中で、資料整備については、「人口１人当たり１０冊を基本に６４０，０００冊を目標とします。」とうたっています。現在、蔵書冊数は６５万冊を越え、前期の目標値は達成していますが、図書館資料については、最新の情報を提供し書架の新鮮さを保つためには継続的な更新が必要であることから、今後も開架資料の５％の更新を目標として、市民に多種多様な学習要求に応えられるように、幅広いタイトル数を購入するよう努めてまいります。

少子高齢化の急速な進行に伴い、図書館の利用についてはこの５か年で、資料貸出総数、新規登録者数等については減少傾向にあります。

図書館としては、利用者により資料に関心を持ってもらうための時宜的な資料展示やテーマ展示、また転入者への利用案内の配布、県立袖ヶ浦高校生に利用案内を配布するほか、今後も図書館資料の情報提供を進め、利用の拡大に努めます。

取り組み内容

<新規・一部新規・拡充>

新規コーナーの設置・読書案内

- ・勤労者層の利用促進のため、長浦おかのうえ図書館にビジネスコーナーを設置し、ビジネスマナーや資料作成、課題解決に役立つ資料の充実を図った。また、図書館のホームページ「資料案内」にも「ビジネスコーナー」を作成し、図書館だよりやツイッターで周知を行った。11月には市内3図書館全体で「一步進んだ仕事術！」というテーマの特設コーナーをつくり、仕事に役立つ本の紹介に努めた。
- ・平川図書館に「介護支援コーナー」を設置し、介護予防・介護支援関係の図書の充実を図った。市内社会教育施設等へのポスター掲示、図書館だよりやメールマガジン等でも周知を行った。2月にはホームページ上で「介護を知ろう」というテーマの特設コーナーをつくり、高齢者とその家族にとって関心の高い図書の紹介に努めた。
- ・9月10日～16日の自殺の予防週間にあわせ、中央図書館、長浦おかのうえ図書館において関連図書や相談窓口のチラシを集めたミニコーナーを設置し、ツイッターでも周知した。
- ・図書館の蔵書に興味を持ってもらうきっかけづくりとして、職員が自由にテーマを考えておすすめの本を紹介する「図書館員のおすすめ図書」のコーナーを10月からホームページで開始した。

館内の環境整備

- ・長期間に及んだ臨時休館を利用して、全館でコーナーやレイアウトの見直しを図った。中央図書館では大型本コーナー、長浦おかのうえ図書館では大活字本コーナーと大型美術書のコーナーを拡充したほか、平川図書館や公民館図書室でも、書架サインの作成やレイアウト変更を行った。特に平川図書館では大活字本や文庫のコーナーの拡張、青少年コーナーや児童コーナーに飾り付けを行うなど大幅なリニューアルを行った。

公民館図書室の利用促進

- ・秋のトショロ月間では公民館図書室では初めての企画として「《ごちそうえほん大集合》食べてみたいごちそうに投票しよう！」を開催したところ、根形図書室で70票、平岡図書室で96票と多数の投票があり、10月～11月の貸出資料点数を令和元年度と比較すると2室合計で670冊の貸出増となり、公民館図書室の利用促進につながった

根形図書室10月～11月貸出点数3,426点（令和元年度3,024点）

平岡図書室10月～11月貸出点数2,015点（令和元年度1,747点）

<継続>

- ・新刊図書の購入を中心に必要に応じて遡及購入を行ったほか、郷土行政資料など寄贈の依頼も行い、11,796冊の図書（うち購入11,012冊）を受け入れした。一方で情報の古くなった図書は書庫へ編入し、全館の開架書架の図書311,949冊（令和3年3月31日現在）の約3.8%を更新したが、重点施策に掲げた開架図書の更新率5%という目標値に対する達成率は76.0%にとどまった。なお、最新版を購入した旅行ガイド等で旧版でも利用価値があるものは分館へ移管し、再活用を図った。
- ・地域の高齢化が進行する中で、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と

医学関連の図書を重点的に収集した。社会福祉の分野の図書を全館で187冊収集し、同分野の全開架図書2,409冊の約7.76%を更新したほか、医学・薬学の分野の図書を全館で638冊収集し、同分野の全開架図書10,822冊の約5.9%（一般書のみでは6.06%）を更新した。

- ・中央図書館を中心に郷土資料の拡充に努め、市内3図書館で582冊の郷土資料（うち袖ヶ浦市関連図書314冊）を収集した。
- ・袖ヶ浦市関連の新聞記事見出し一覧を作成し、毎月ホームページ上で公開したほか、市職員向けの掲示板にエクセルによるデータを提供した。また、令和元年度一年間分の記事索引を冊子にまとめ、郷土資料として受け入れした。
- ・おすすめ図書のリストを一般向けに2種類、児童向けに4種類作成したほか、パスファインダー（調べ方案内）を一般向けに1種類、児童向けに1種類作成し、教養や調査研究、児童の調べ学習等に資する情報の提供を行った。
- ・夏のトショロ月間において、新型コロナウイルス感染拡大予防のため集会事業を行わない代替として「絵本のおたのしみ袋」を全館で実施し、140袋用意したところすべて貸し出された。
- ・秋のトショロ月間では、昨年と同様に大人向けの「本のおたのしみ袋」を平川図書館と公民館図書室で実施し、用意した80袋のうち78袋が貸出された。
- ・1月には、子どもが読書に親しむきっかけづくりとして、書名が分からないように絵本3冊を袋に入れて、ヒントとなるテーマを表に書いた「えほんのふくぶくろ」を実施した。全館で130セットを用意し、すべて貸出された。
- ・市役所の市民課、長浦・平川行政センターにおいて転入者へ図書館の利用案内を配布したほか、袖ヶ浦高等学校の新入生に対して高校生向けに作成した利用案内を配布した。また、ブックスタートでは、幼児向けのおすすめリストとあわせて図書館の利用案内「親子のための図書館・図書室まるわかりMAP」を配布し、利用喚起を図った。

内部評価

○全体評価：N（新型コロナウイルス感染症の影響で評価不能である）

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う2度の臨時休館があり、開館中もサービスの一部制限、読書普及事業の中止や縮小を行ったことから、年間の利用者数や資料貸出数は前年度を下回った。
- ・約4カ月にわたる臨時休館中は新規登録も受付できなかったことから、市民の新規登録者数は536人と、令和元年度の新規登録者数1,229人と比べ大幅に減少した。そのため、10年間未利用により除籍した市民登録者は1,506人と令和元年度の除籍者数1,531人よりやや減ったものの、市民登録率についても前年度より減少した。
- ・長期間の臨時休館を利用して、全館で書架のレイアウトやサインの見直し、特色あるコーナーの拡充等、図書館再開後の利用しやすさにつながるよう改善を図ることができた。
- ・図書館が再開した6月以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館時に検温等の受付、館内ビデオ視聴等一部サービスの制限、返却資料の消毒等の対策を行った。1月から

は中央図書館と長浦おかのうえ図書館に除菌器を導入し、返却資料の除菌を徹底した。

- ・ 2度目に臨時休館となった際は、中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館に窓口を設置し、予約資料の受渡しを行ったほか、電話やメールでの未所蔵リクエスト・レファレンス受付を行い、便宜を図った。

○課題

- ・ 市民の多種多様な学習要求に応え、様々な課題の解決を支援するため、子どもから高齢者まで幅広い年代に対して、図書館から積極的に資料や情報を提供する取組を今後も充実させていく必要がある。特に、20代から50代にかけての、いわゆる勤労世代が図書館を仕事や生活に活用できるような積極的な働きかけが必要である。
- ・ 様々な事情により図書館への来館が困難な利用者、特に子育て中の世代や高齢者の読書活動を支援する取組が必要である。

○今後の対応

- ・ 社会的関心の高いテーマを取り上げ、課題解決に役立つ図書館資料を特設コーナーやホームページを通じて紹介していく。特に、20代から50代にかけての年代の市民が仕事や生活に活用できる図書館資料の充実と積極的な紹介を行う。
- ・ 図書館に来館しなくても図書館の資料を利用できるサービスとして、子育て支援施設や高齢者向けの福祉施設等に向けて団体貸出の周知活動を行う。

外部評価（図書館協議会からの意見）

サービス内容（２）社会情勢の変化に対応したサービスの充実

令和２年度末想定市人口 64,000 人

令和３年４月１日市人口 65,075 人

サービス評価指標	実績(R2)	目標値	達成率	
⑩一日あたりのホームページアクセス件数 (件/日)	374.0	315	118.7%	4
⑪一ヶ月あたりのWeb予約件数(件/月)	3,262.3	2,250	145.0%	4
⑫学校図書館への対応 ・団体貸出総冊数(冊数/年)◆	2,360	3,000	78.7%	—
⑫学校図書館への対応 ・出張おはなし会参加者数(人/年)◆	2,495	5,000	49.9%	—
⑬レファレンス件数(件)	417	800	52.1%	—

◆【平成 30 年 11 月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

◎平均達成率：５項目中２項目の平均達成率 131.9%・評価不能３項目

（後期計画におけるサービス内容）

①情報化社会への対応

今後も、ホームページの充実を図り、またメールマガジンの発行により、新着資料の情報提供や個々に関心の高い資料情報の提供を行うなど、より利便性の高い情報発信を行っていきます。

②学校図書館への対応

学校図書館への支援については、今後も引き続き、団体貸出、レファレンスサービス、学級文庫への読み物のセット貸出を行うなど学校図書館を通した子どもたちの読書への支援をさらに推進します。また学校を訪問してのおはなし会等を開催し、調べ学習の支援を行います。

③高齢化社会への対応

高齢者にとって、より利用しやすい図書館を目指し、今後も大活字本の提供、朗読CDの積極的な収集提供に努めます。

④関連施設・関係課との連携

他の公共図書館との連携により、市民への資料提供をより一層充実させます。また今後も他の公共図書館、学校図書館、博物館などの教育施設との連携を図り、子育て支援を推進し、図書館利用の促進のため、関係課との連携をより強化していきます。

⑤国際化への対応

国際化が急速に進展し、子どもから大人まで、市民が外国の文化に触れる機会も増大しています。より外国の文化を理解し、外国人に日本文化を紹介するための外国語資料の充実を図り、外国語による利用案内等を作成します。

⑥職業能力開発の要求への対応

労働を取り巻く環境の変化により就職、転職、能力開発、日常の仕事等で情報を必要とする市民は増加しています。こうした利用者に対応するための資料の収集・提供、適切なレファレンスの実施等、個人の学習ニーズに応える機能を高め、図書だけでなく、就労や資格取得のためのパンフレットやチラシ等による情報提供、インターネットを活用した情報や、法律・経済関連のデータベースの提供を行います。

⑦レファレンスサービスの充実と利用促進

レファレンスサービスについては、情報量が増大し、多種多様となっている現代社会において、課題解決のための支援はますます重要になっています。市民の課題解決支援に対応するために必要な図書資料及び電子資料の提供に努めます。

取り組み内容

<新規・一部新規・拡充>

ホームページの充実

- ・読んだ本や読みたい本を登録できるMy本棚など、機能が大きく向上したマイページについて図書館のホームページに説明ページを設けたほか、ツイッターでもWeb予約のPRを行い、Web予約件数は前年度より著しく増加した。

学校との連携

- ・1度目の臨時休館中は、学校も臨時休校となっていたことから、学校への団体貸出についても休止したが、2度目の臨時休館中には、図書流通システムを通じた学校への団体貸出を引き続き実施したほか、学校司書が図書館を利用できないことから、開架書架の図書も図書流通システムで学校へ届けるなどの対応を行い便宜を図った。
- ・学校との連携を充実させ、昭和中学校図書委員が中央図書館児童室に、平川中学校図書委員が平川図書館児童コーナーに、袖ヶ浦高校の図書委員が中央図書館青少年コーナーにそれぞれおすすめ図書の展示を行い、同世代の利用につなげることができた。
- ・昭和小学校1年生から5年生までの各学年が作成した「けむりのきしゃ」「おはなし美術館」「生き物ブック」「昭和小から発信！～広めよう千葉県の魅力～」 「米新聞」などの作品を中央図書館に関連本とともに展示した。また、昭和中学校3年生の「GO TO おくのほそ道」の展示を中央図書館で行い、小中学生と保護者の来館の機会を創出した。
- ・袖ヶ浦高校図書委員によるおはなし会を例年8月に開催していたが、感染予防のためおはなし会を見合わせていたことから時期を改め、12月にクリスマスおはなし会として実施した。

高齢者の利用促進

- ・長期間の臨時休館を利用して、長浦おかのうえ図書館と平川図書館の大活字本コーナーを拡充したほか、朗読CDの紹介ポスターとチラシを作成し、ツイッターでもPRした。

館内の環境整備

- ・長浦おかのうえ図書館では書架にピクトグラム（絵文字）による案内を掲示したところ、利用者アンケート等でも好評であった。

就職等に関する情報提供の充実

- ・長浦おかのうえ図書館に職業や資格の紹介に関連する図書、パンフレットを集めたコーナーを新たに作った。

＜継続＞

- ・メールマガジン、ツイッターを活用して、図書館資料の紹介や読書普及事業のお知らせだけでなく、新型コロナウイルス感染防止の臨時休館のお知らせなど、即時性の高いタイムリーな情報を発信した。

令和2年度末メールマガジン登録者数189人（令和元年度末181人）

令和2年度末ツイッターフォロワー数554人（令和元年度390人）

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じて、7月から市内保育所、小中学校等での出張おはなし会を再開した。
- ・館内閲覧用の電子図書として朝日新聞、日本経済新聞記事のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを導入し、市民の調査研究支援に活用した。

日本経済新聞記事データベース閲覧件数50件（令和元年度 閲覧件数90件）

朝日新聞データベース閲覧件数58件（令和元年度 閲覧件数60件）

国立国会図書館デジタル化資料閲覧件数21件（令和元年度 閲覧件数31件）

内部評価

○全体評価：N（新型コロナウイルス感染症の影響で評価不能である）

- ・マイページなどの新機能について周知することで、図書館ホームページのアクセス件数は大幅に増加した。また、コロナ禍でも図書館に来館せずにいつでも利用できるサービスとして、web予約件数は大幅に増加した。

1日あたりのホームページ総ページビュー数20,710.7件（令和元年度16,575.8件）

1か月あたりのweb予約件数3,262.3件（令和元年度2,851.8件）

- ・1度目の臨時休館中は学校も臨時休校となり、学校への団体貸出についても休止したことが影響して、学校への年間の団体貸出実績は前年度より減少した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じて、市内保育所、小中学校等での出張おはなし会を7月から再開したが、学校が5月まで臨時休校となり、学校再開後も朝の読書の時間が減ったことも影響し、出張おはなし会の依頼件数は前年度より大きく減少した。
- ・長期間の臨時休館があったほか、開館中も滞在時間を2時間以内と制限したことから、レファレンスの受付件数や館内データベースの閲覧件数は前年度より減少した。

○課題

- ・WebOPACのおすすめ図書リストや蔵書検索からでは、借りてみたいと思う本を見つけるのは難しい面がある。
- ・ホームページからのレファレンスの受付は、図書館へ来館する時間的余裕がない市民に対するサービスとしてニーズがあると思われるが、認知度が低い。
- ・長浦おかのうえ図書館に導入したピクトグラムによる書架案内は、ユニバーサルデザインとし

て有効であり、子どもや高齢者、外国人などにも分かりやすいので、他の館にも導入するべきである。

○今後の対応

- ・おすすめ図書リストや蔵書検索だけではなく、ホームページ上で様々な所蔵資料の情報を取得できるように、「おすすめ図書」コーナーの一層の充実を図る。
- ・ホームページからの未所蔵資料のリクエスト、レファレンスの受付については引き続きホームページやツイッター等を通じて情報発信を行っていく。
- ・中央図書館、平川図書館の書架にもピクトグラムによる書架案内の表示を導入する。

外部評価（図書館協議会からの意見）

サービス内容（３）利用者に応じたサービス

令和２年度末想定市人口 64,000 人

令和３年４月１日市人口 65,075 人

サービス評価指標	実績(R2)	目標値	達成率	
⑭児童サービスの充実 ・ブックスタートにおける本の配布率(%)	33.6	100	33.6%	—
⑭児童サービスの充実 ・おはなし会参加者数[館内・館外合計](人)◆	4,058	12,000	33.8%	—
⑭児童サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(回／年)	6	4	150%	4
⑮青少年サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(Y・A)	1	1	100%	3
⑮青少年サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(ジュニア)	1	1	100%	3
⑯高齢者サービスの充実 ・大活字本の貸出冊数(冊／年)	1,123	5,000	22.5%	—
⑰障がい者サービスの充実 ・宅配サービス(冊／年)	167	350	47.7%	—
⑱図書館ボランティアの育成(名)	77	70	110%	4
⑲来館者満足度 ・利用者アンケート「図書館全体の満足度」(%)	77.7%	75.0	103.6%	4

◆【平成 30 年 11 月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

◎平均達成率：9 項目中 5 項目の平均達成率・112.7%・評価不能 4 項目

（後期計画におけるサービス内容）

①子どもたちのために

今後も子どもたちが読書の楽しさを体験し、本に親しむことのできる読書環境の充実に向けて、学校、幼稚園、保育所等との連携を図りつつ、「袖ヶ浦市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの発達段階に応じた、わらべうたであそぼう、えほんのへや、おはなし会を開催するとともに、新たに健康推進課の 4 か月児教室において、ブックスタートを実施し、乳児期からのサービスを提供します。

②高齢者のために

今後も、高齢者に配慮した施設の整備を図り、大活字本などの資料の充実に努めます。また、社会福祉協議会、高齢者クラブ等の関係機関・団体との連携を図りながら、映画会、講習会等の読書普及事業の実施、図書館利用の際の介助など、きめこまかな図書館サービスの提供に努

めます。

③図書館利用に障がいのある人のために

宅配サービス等の利用案内を引き続き広報等でPRに努めると共に、目の不自由な方へのサービスについても、要望があった場合には的確に対応できる体制を整えます。

④主体的に学ぶ市民のために

市民が読書に親しむ取り組みとして、図書館サークルやボランティアの協力を得ながら、市民に親しまれる図書館を目指し、あらゆる世代に対し図書館の利用や読書に結びつくよう、各種講座・講演会、名画鑑賞会、資料展示等を開催していきます。また、公民館や博物館等の社会教育機関、学校、民間の関係機関との共催事業等、多様な学習機会の提供に努め、市民の情報活用能力の向上を支援するため、学習機会の提供に努めます。

- a. 余暇活動支援 b. 学習生活及び調査研究支援
- c. IT支援 d. 行政支援 e. ビジネス支援

⑤サークル活動をする人のために

市民が図書館資料を共有する中で交流し、暮らしに根ざした自主的な活動を展開していくことは、地域の文化活動を豊かにします。図書館では市民の文化活動、コミュニケーション活動の拠点として、図書館資料、施設を利用して活動するサークルに対して、その活動を支援します。

⑥ボランティア活動をする人のために

市民のニーズにあった事業を展開していくために、市民の知識や技術を生かした市民協働の図書館運営を目指し、新たに展示、映画会事業をはじめ、様々なボランティアを養成します。

取り組み内容

＜新規・一部新規・拡充＞

子どもと保護者への利用喚起

- ・臨時休館明けには積極的に「児童コーナー」や「幼児絵本・育児コーナー」を紹介するツイートを積極的に行い、利用喚起を図った。
- ・中央図書館、長浦おかのうえ図書館で新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、年齢別の絵本セット「すぐに借りて帰りたい人のためのおすすめ絵本セット」を作った。2度目の臨時休館中には、予約資料の受け取りに来館した市民が借りられるように、受付窓口の前に絵本セットのコーナーを作り、貸出を行った。

児童サービスにおけるコロナ対応

- ・定員を減らす、事前予約制にするなどの新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じて、9月から中央・長浦、10月から平川で館内おはなし会を再開した。出張おはなし会についても市内保育所、小中学校等で7月から再開した。子ども映画会、わらべうたであそぼう、すきすき絵本タイムについては引き続き開催を見合わせている。また、子育てや子どもの読書に関心のある市民も対象に加え、12月に「子どもの本の講座」を開催し、「この絵本をあの子へ」をテーマに講演を行った。
- ・ブックスタートについては、会場となる4か月児教室が開催されず、ブックスタートが開催

できないため、中央図書館だけでなく長浦おかのうえ図書館、平川図書館、すこやか相談の会場でもブックスタートパックの配布を行った。ブックスタートボランティア養成講座（全3回）を開催し、11名が新規に登録した。

- ・夏のトショロ月間では新型コロナウイルス拡散防止のため参加型の事業は開催せず、展示型の企画を行ったほか、中央図書館では昭和小学校との展示企画、長浦おかのうえ図書館では蔵波中学校美術部による作品展示を行った。また、個人で参加できる企画として、全館で「絵本のおたのしみ袋」「おしえて！きみのすきな本」、平川図書館、根形・平岡公民館図書室では「読書感想画を描こう！」、さらに根形・平岡公民館図書室では「図書館で『宝さがし』」などの事業を行い、参加者数は前年度より大幅に減少したものの、開催方法を工夫して全体では601人の参加となった。（令和元年度2，163名）

<継続>

- ・「こどもの読書週間記念行事」として0歳から小学生の子どもを対象とするスタンプラリーを4月から5月に行う予定であったが、臨時休館になったため、読書週間（10/27～11/9）の前後に開催する秋のトショロ月間（10/24～11/23）に合わせ、「秋のこどもスタンプラリー」として全館で開催した。期間中は貸出冊数を拡大してスタンプラリーを行い、439名の参加があった。また、「秋のトショロ月間」期間内の館内のおはなし会では44名、「青空かみしばい劇場」では53名など多数の参加者があった。
- ・「秋のトショロ月間」では、中央図書館において俊寛をめぐる能と浄瑠璃」をテーマに文芸講座を開催し、専門の講師を招いて全4回の連続講座を開催した。長浦においては県の金融広報アドバイザーを講師に迎え、高齢者を対象に、暮らしに役立つ生活講座「今、気をつけたい！悪質詐欺について」を開催した。また、社会教育推進企画として「歌舞伎図書館座」を開催し、社会教育推進員の解説付きで「勸進帳」の上映を行った。他の参加型の事業についても開催方法を工夫し、全体では前年度とほぼ変わらない1,652名の参加があった。（令和元年度1，676名）
- ・1月には、子どもが読書に親しむきっかけづくりとして、書名が分からないように絵本3冊を袋に入れて、ヒントとなるテーマを表に書いた「えほんのふくぶくろ」を実施した。
- ・高齢者が利用しやすい資料として、中央、長浦、平川で朗読CDを35点（23タイトル）、大活字本を100冊（47タイトル）購入した。
- ・障がい者サービスとして、心身の障がいのため来館が困難な市民に対して宅配サービスを行い、個々の利用者が希望するジャンルの図書リストを作成するなどきめ細かく対応した。
宅配利用登録者 10名・貸出点数167点（令和元年度10名・271点）
うちデジ利用者 1名・貸出53点（令和元年度1名・63点）
- ・障がい者サービス、宅配サービスの周知を図り、民生委員に依頼して長浦・蔵波地区でチラシの配布を行った。
- ・名画鑑賞会については新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインを作成し、感染対策を行うことにより9月より中央図書館・長浦おかのうえ図書館で再開した。映画会ボランティアがおすすめする「旅情が味わえる作品」の見どころやおすすめポイントを記したチラシを作成・配布し、ボランティアが描いたナイアガライラストも好評であった。

- ・図書館ボランティア総会を9月に開催し、ボランティア相互の交流を図るとともに、図書館サービスや読書普及事業について意見交換を行った。
- ・図書館利用者アンケートを実施し、その結果を報告書にまとめたほか、自由意見欄に書かれた意見から主なものを取り上げ、Q&A形式にまとめて館内で掲示した。

内部評価

○全体評価：4（計画どおりに実施でき、一定以上の成果があった）

- ・長期間の臨時休館があったほか、読書普及事業を再開してから定員を減らしたり事前予約制にするなどの新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じたほか、対策を講じることが困難な事業については実施を見合わせたため、おはなし会や映画会等の開催回数、参加人数ともに減少した。

館内おはなし会実績19回・244人（令和元年度131回・2,306人）

出張おはなし会実績136回・3,814人（令和元年度349回・10,453人）

映画会実績6回・107人（令和元年度57回・3,331人）

読書普及事業参加者総数6,605人（令和元年度20,418人）

- ・子どもの年齢別のおすすめ図書リストは計画どおり作成し、配布することができた。
- ・長期間の臨時休館、新型コロナウイルス感染予防対策に伴う読書普及事業の中止やサービスの一部制限の影響があり、高齢者や障がい者を対象としたサービスの実績は昨年度を下回った。
- ・ブックスタートボランティア養成講座、おはなし会ボランティアスキルアップ講座は計画どおり実施し、ボランティアの研修や養成を図ることができた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策、緊急事態宣言の臨時休館により事業数が減少したため、社会教育推進員や図書館ボランティアの活動回数も減少した。

社会教育推進員13名・図書館ボランティア77名（令和元年度13名・71名）

社会教育推進員・図書館ボランティア活動回数196回（令和元年度539回）

○課題

- ・ブックスタートについては、コロナ禍の中で4か月児教室が中止となったことにより、対象者の多くが参加する場所がなくなってしまったため、図書館3館でもブックスタートパックの配布を行ったが、配布できない対象者が多数あったので、より多くの対象者にブックスタートを実施する機会を設けることを検討する必要がある。
- ・ブックスタート事業の対象は市内在住の1歳未満のすべての子どもであるため、その保護者への周知方法を検討する必要がある。
- ・活動に必要な人員を確保するため、新たなおはなし会ボランティアを養成する必要がある。
- ・高齢者が読みやすい資料として大活字本を継続して購入しているが、大活字本の貸出冊数は減少した。（令和元年度3,863冊→令和2年度2,553冊）
- ・図書館へ来館することが困難な障がい者を対象に実施している宅配サービスは、新規登録は2名あったものの、4月～5月の臨時休館中は宅配サービスを停止し、その後もコロナ禍の

中で依頼を控える利用者もあり、利用実績は減少した。

宅配サービス延べ利用者数 37 人・貸出 167 点（令和元年度 57 人・271 点）

○今後の対応

- ・ブックスタートの実施機会を増やすため、4 か月児教室で行っていたブックスタートを図書館でも行うこととする。さらに、市内在住の 1 歳未満の子どもを持つ保護者への周知を図る。
- ・おはなし会ボランティア養成講座初級編を開催し、ボランティアの増員を図る。募集する際は、若い人にも興味を持ってもらえるよう、館内掲示だけでなくホームページやツイッターでも広報する。
- ・大活字本や朗読 CD 等、高齢者が利用しやすい資料を引き続き積極的に収集し、高齢者を対象にした講座を開催する。
- ・社会福祉協議会等の関係機関を通じて、長浦・蔵波地区以外へも障がい者サービスについて周知を図っていく。

外部評価（図書館協議会からの意見）

議題（３）令和３年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について

１ 目的

「こどもの読書週間」（４月２３日～５月１２日）の前後に、貸出冊数の拡大とスタンプラリー、おすすめ図書リストの配布やおすすめ図書の展示、おはなし会、ラウンジ展示クイズなどの各種行事を全館で実施し、家庭における読書活動の充実を推進する。

２ 期間及び内容

- （１）貸出冊数の拡大（全館） ４月１７日（土）～５月２３日（日）
貸出冊数の上限を、通常の一人１５冊から一人２０冊に拡大する。

- （２）スタンプラリー（全館）
スタンプラリー台紙配布：４月 ３日（土）～５月２３日（日）
スタンプ押印：４月１７日（土）～５月２３日（日）

図書館の本をカウンターに返却した子ども（対象：０歳～小学生）に対して、返却した冊数分のスタンプを専用の台紙に押し、スタンプ２０個ごとに記念品をプレゼントする。また、期間内の館内おはなし会等の参加についても、１回につき１個スタンプを押す。記念品は、スタンプ２０個で市制施行３０周年記念トショロメモ帳、４０個でトショロのしおりと紙花とする。

- （３）おすすめ図書リストの配布（全館） ４月１７日（土）～５月２３日（日）
親子で楽しめる絵本、読み継がれてきた本、読み聞かせて面白い物語など、図書館で作成したおすすめ図書のリストを配布する。

- （４）おすすめ図書の展示（全館） ４月１７日（土）～５月２３日（日）
リストに掲載している絵本など、親子での読書におすすめの児童書を展示して紹介する。

- （５）ラウンジ展示クイズ（中央） ４月１７日（土）～５月２３日（日）
第１問配布・回答期間 ４月１７日（土）～５月２３日（日）
第２問配布・回答期間 ５月 ２日（日）～５月２３日（日）

中央図書館ラウンジ展示「～袖ヶ浦市市制施行３０周年記念～袖ヶ浦市のあゆみ」との連動で、子ども向けの関連クイズに回答するとスタンプラリーの台紙に１問につき１つスタンプを押印する。台紙１枚につき、１回ずつ参加できる。

3 実績

行事名	日時または 期間	配布数・参加者数
スタンプラリー台紙 の配布	4/3～5/23	① 中央 370 枚 ② 長浦 346 枚 ③ 平川 93 枚 ④ 根形 27 枚 ⑤ 平岡 25 枚 全館合計 861 枚
記念品プレゼント数	4/17～5/23	① 中央 262 個 ② 長浦 165 個 ③ 平川 53 個 ④ 根形 6 個 ⑤ 平岡 18 個 全館合計 504 個 (内訳 メモ 345 個 しおり・紙花 159 個)
ラウンジ展示クイズ	①第1問 ②第2問	① 218 人 ② 143 人 合計 361 人
おはなし会	①中央 4/17、5/9 ②長浦 4/24、5/16 ③平川 5/1	① 4/17 21 人, 5/9 22 人 ② 4/24 7 人, 5/16 11 人 ③ 5/1 9 人 合計 70 人

4 前回との比較

	令和元年度	令和2年度(※)	令和3年度
スタンプラリー台紙の 配布人数 (参加者数)	985 人	850 人	861 人
記念品の受け渡し人数	396 人	439 人	504 人
実施期間	4/13～5/12 (27 日間)	10/24～11/23 (26 日間)	4/17～5/23 (32 日間)
実施期間中の 児童書貸出冊数	16, 924 冊 (27 日間)	17,463 冊 (26 日間)	21, 887 冊 (32 日間)
1 日当たりの 児童書貸出冊数	627 冊	672 冊	684 冊

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として4月・5月が臨時休館となったことから、「秋のトショロ月間」期間中に「秋のスタンプラリー」として実施した。「子どもの読書週間」期間中に実施するのは令和元年度以来2年ぶりである。

5 総括

本年度は、2年ぶりに「こどもの読書週間記念行事」としてスタンプラリーを実施した。当初4月17日から5月16日までの予定だったが、コロナ禍で外出する機会が少ないことを考慮し、5月23日まで開催期間を1週間延長した。

来館を控える方も多い中、多くの子どもたちがたくさんの本を借り、記念品を受け取ってもらうことができた。記念品が、市制施行30周年記念として作成したトショロとガウラのメモ帳とトショロのしおり&紙花だったこともあり、幼児のみならず小学生も意欲的に参加する姿が見られた。また、おはなし会や中央図書館でのラウンジ展示クイズでは、家族で参加する様子も多く見られた。

1日当たりの児童書の貸出冊数も、昨年度と比較して増加し、子どもの読書意欲を喚起する一定の成果が見られた。来年度以降もスタンプラリーを軸とし、効果的な実施内容を検討したい。

報告事項（１）令和３年度図書館経営方針及び重点施策について

※下線部を、令和２年度第３回図書館協議会後に修正しました。

１．経営方針

図書館は、第三期教育ビジョンにおける施策の方向性の一つである「一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実」を推進するため、「市民に親しまれる図書館活動の充実」に取り組みます。

そのため、袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画に基づき、乳幼児から高齢者まで地域の特性に則した、市民の多種多様・高度化する要求に応えられる図書館サービスの充実を図ります。また、市民一人ひとりの学習課題、生活課題、地域課題の解決を支援します。

２．重点施策

（１）資料及び情報の収集、提供等

市民の多種多様な読書要求に応え、高度化する課題の解決を支援するため、社会情勢や地域の実情に留意しつつ、「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、図書館資料の充実を図ります。

資料や情報の提供にあたっては、利便性に配慮し、地域や年代等にかかわらず広く市民が利用できるよう努めます。また、地域の身近な情報拠点として、市民の様々な課題の解決を支援します。

○市民に最新の情報を提供するため、開架書架の４％程度を更新できるよう新刊図書を収集するとともに、郷土行政資料については寄贈を積極的に呼びかけます。

○電子データで公表された行政資料を製本し図書資料として受け入れるほか、さらに電子資料としても収集します。

○幅広い年代に対して図書館の豊富な蔵書を幅広く紹介する様々な企画を推進し、利用の拡大に努めます。また、SDGsの１７の目標に対応した資料の収集と提供を推進します。

○個人への貸出だけでなく学校や地域、企業等における読書活動や行政機関等における情報収集などを支援する団体貸出サービス等を行います。

○図書だけでなくインターネットやデータベース等も活用し、利用者の求めに応じて資料及び情報の提供・紹介等を行うレファレンスを推進します。

（２）利用者に応じたサービス

市民の様々なニーズに対応するため、利用者の特性に応じたきめ細かいサービスを展開します。

①乳幼児と保護者に対するサービス

○家庭における読書活動を推進するため、４か月児教室だけではなく、図書館でもブックスタート事業を実施します。

○乳幼児を対象とする絵本の読み聞かせ、手遊びなど子どもの発達段階に応じたおはなし会を実施し、乳幼児が保護者とともに読書に親しむことのできる環境の充実を図ります。

○対象年齢別のおすすめ図書リスト発行や児童室でのおすすめ図書の展示等を通じて、保護者が読書に関心を持ち、親子で読書活動を楽しむための情報提供を積極的に行います。

○幼稚園、保育所や子育て支援施設等への出張おはなし会を行い、乳幼児の読書活動の支援を行います。

②児童・青少年に対するサービス

- 児童・青少年が本に親しみ、読書の楽しさを体験できるように、子どもの発達段階に応じたおはなし会を実施するとともに、より多くの子どもたちに読書への関心を喚起させるため、小中学校等へ出張おはなし会を実施します。
- 対象年齢別のおすすめ図書リストの発行や児童室、青少年コーナー等でのおすすめ図書の紹介展示を行います。
- カウンターで読書相談やレファレンスに応じるほか、学校への団体貸出を通じて児童・生徒の調べ学習や読書活動を支援します。
- 「こどもの読書週間記念行事」や「夏のトショロ月間」など子どもが読書に関心を持つきっかけとなるイベントを開催します。
- 音声デージー等の貸出により、学習障がい等により、読みに障がいのある子どもの読書支援を行います。

③成人に対するサービス

- 20代から50代の市民が抱える就職・転職、起業、職業能力開発、日常の仕事、また、子育て、教育、若者の自立支援や健康・医療、福祉、法律など様々な課題について、資料の充実と活用を図ります。また、社会の変化や技術の進展に的確に対応し、データベース等の電子資料も活用し、利用者が求める資料や情報の提供を適切に行えるよう努めます。

④高齢者に対応するサービス

- 病気や予防法など健康に関する資料、趣味や生きがいを見つけるための資料など高齢者にとって関心の高い資料、大活字本や朗読CDなど高齢者が利用しやすい資料の充実と活用を図ります。また、高齢者の関心の高いテーマを取り上げた講座を開催します。

⑤図書館利用に障がいのある人に対するサービス

- 心身の障がいや長期のケガ、病気等により図書館への来館が困難な市民への宅配、活字による読書が困難な市民へのデージー図書の提供などの障がい者サービスを実施します。
- ホームページからのレファレンスや未所蔵リクエストの申し込みの受付など、日常的な図書館利用が困難な市民に対してインターネットを活用したサービスの周知に努めます。

⑥多文化サービス

- 市内在住の外国人が気軽に図書館を利用できるように、ユニバーサルデザインに配慮した館内表示や所蔵している外国語図書のリストを館内に設置するなど、館内の環境整備を図ります。
- 学校等を通じて、日本語を母語としない児童生徒への資料提供を図ります。

(3) 多様な学習機会の提供

多様化する課題に的確に対応するため、様々な関係機関と連携して資料や情報、学習機会を提供します。また、市民ボランティアと連携した事業を展開し、事業の充実を図るとともに、住民相互の交流を促進します。

- 市内の小中学校や高等学校と協力し、児童生徒のおすすめ図書や作品を図書館で紹介、展示します。
- 公民館、郷土博物館と事業の連携を図り、公民館事業への講師派遣や資料提供、郷土博物館と連携した資料展示などを行います。
- 図書館で活動するボランティア活動を促進し、積極的に養成を図ります。
- 図書館が広く市民に利活用されるために、市及び図書館の広報紙やホームページ、SNS等

様々な媒体を活用して、図書館の資料や読書普及事業等について積極的な情報発信を行います。

令和3年度図書館事業一覧

(単位：千円)

No.	事業名 (事業費)	目的・内容	時期・回数	対象・人数
1	図書館協議会 関係費 【225】	地域住民と図書館の架け橋的役割を担う委員 が、図書館の持つ課題について研究協議し、図 書館奉仕活動の振興を図ります。	会議 2回 7月・2月 視察 1回 11/12	協議会委員 10人
2	図書館運営事 務費 【63,985】	市民に親しまれる図書館活動の充実を目指し、 中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書 館、公民館図書室を有機的に結合させ、「いつ でも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利 用できる図書館づくりを進めます。	開館日数 中央・長浦 294日 平川 298日 根形・平岡 299日	市全域
3	図書館資料購 入費 【25,416】	中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書 館、公民館図書室の資料を計画的に整備し、市 民の生涯学習要求に応じた資料の充実を図りま す。	通年	市全域
	(1) 図書購入 (20,420)	・中 央 4,273冊 ・長 浦 4,471冊 ・平 川 1,210冊 ・根 形 250冊 ・平 岡 240冊 計 10,444冊		
	(2) 視聴覚資 料購入 (331)	・DVD 10点 ・コンパクトディスク 75点 計 85点		
	(3) マイクロ フィルム等購 入 (215)	全国紙の千葉版及び地方新聞のマイクロフィ ルム、DVD-ROMを収集し、地域の遡及的な調 査研究に役立てます。 ・朝日、読売新聞（千葉版） ・新千葉新聞 ・千葉日報 DVD-ROM版		
	(4) 新聞・雑 誌購入 (2,737)	〈新聞〉 〈雑誌〉 ・中 央 12紙 80誌 ・長 浦 10紙 56誌 ・平 川 4紙 20誌 計 26紙 156誌		
	(5) その他 (1,713)	・官報情報データベース、法情報データベース ・図書データ作成ほか		
4	電算処理事業 【14,329】	中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書 館、公民館図書室のネットワークを活用し、迅 速かつ均一な図書館サービスの提供を図りま す。 また、ホームページを充実させ、利便性の向上 と図書館からの情報発信に努めます。 ・図書館電算システム（図書館業務用クラウド システム及び電算機器一式） ・朝日新聞、日本経済新聞データベース	通年	市全域
5	読書普及事業 【961】	読書に関する様々な講座・講演会を開催し、よ り広範囲な住民の図書館利用の促進と、読書の 質的向上を図ります。		市全域

No.	事業名 (事業費)	目的・内容	時期・回数	対象・人数
	(1) 児童奉仕 推進事業 (49)	読書への導入として、乳幼児期から子どもの発達段階に応じた各種おはなし会を行います。 また、ボランティアを育成し、おはなし会の更なる充実を図ります。 ・こどもの読書週間記念行事 ・おはなし会 ・えほんのへや (*) ・わらべうたであそぼう (*) ・すきすき絵本タイム (*) ・出張おはなし会 ・おはなし会ボランティア養成講座初級編	通年 全館 図書館3館 中央・長浦 長浦 根形・平岡 保育所ほか 年5回	0歳～12歳 4歳～小学生 2・3歳児 0歳児～ 〃 市全域 一般成人20人
	(2) ブックス スタート (706)	乳幼児期からの読書活動を推進するため、保健センターの4か月児教室開催時及び中央図書館において、幼児向け絵本の読み聞かせを行いながら絵本などを手渡します。	通年 中央 12回 保健センター 12回	市内在住の0 歳児
	(3) 文芸講座 (101)	文芸作品をテキストとして、講師を招いて読解し、連続講座の中で作品の理解を深めます。	10～11月予定 (全5回)	各20人
	(4) 資料展示 (5)	図書館所蔵資料の中から特定のテーマのものを取り上げて展示することにより、ふだん目にふれにくい資料を紹介し、読書に対する興味を深めます。	通年 (6回)	
	(5) 視聴覚資 料活用事業 (6)	図書館所蔵の視聴覚資料を有効に活用し、ボランティアと協働し、映画会を行います。	通年 名画 24回 子ども (*)	【定員】 中央 20人 長浦 50人 平川 15人
	(6) 夏のトシ ヨロ月間 (18)	夏休み期間中に、子どもの知的好奇心を刺激する講座や、親子で読書を楽しむ様々な催しを行い、図書館に親しみながら、将来の図書館を活用した生涯学習のための基礎をつくる場とします。	7月～8月	
	(7) 秋のトシ ヨロ月間 (17)	読書週間（10月27日～11月9日）の前後に、市民がより読書と図書館に親しめるような様々な催しを行うとともに、図書館利用グループ等の学習成果発表の場を設けて、市民の交流の場とします。	10月～11月	
	(8) 本・雑誌 リユースデー (11)	複本所蔵、内容の改訂等により除籍した図書・雑誌を、学校や保育所等公共施設で再利用を図るとともに、広く市民の利用に供します。	12月予定 (隔年1回)	
	(9) 障がい者 サービス (40)	図書館利用に障がいのある市民を対象に、宅配サービスを実施するほか、視覚や読みに障がいがある市民も利用しやすい資料を提供します。	通年	
	(10) 社会教育 推進員活用事 業 (8)	市民のリーダーとして社会教育推進員を養成し、図書館事業に活用していくことで、地域の教育力の向上と新しい図書館づくりを目指します。	会議 3回 5月・9月・2月	推進員 13人

(*) 感染状況が改善されるまで、当面の間、開催を見合わせる。

報告事項（２）袖ヶ浦市図書館協議会先進地視察研修について

袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修実施要項（案）

1 日時

令和３年１１月１２日（金） 午前８時３０分～午後３時

2 視察先

守谷市立守谷中央図書館
茨城県守谷市大柏 9 3 7－2

3 目的

守谷市中央図書館は人口規模においては本市と近しく、多様な読書普及事業を行っており、地域の教育機関との連携も充実していることからその事例を視察し本市の今後の図書館運営の参考とする。

4 交通手段 市小型バス（定員 29 名）

5 日程

中央図書館集合（8：30）

中央図書館発（8：40）木更津金田 I C－アクアライン－首都高速 6 号線
－常磐道－谷和原 I C－守谷市立中央図書館

・視察 守谷市立中央図書館（10：20～12：00）
事業説明、施設見学

・昼食

－常磐道－首都高速 6 号線－アクアライン－木更津金田 I C－中央図書館着（15：00）

6 参加費

昼食代等実費 1,000 円（予定）

守谷中央図書館 概要

住所 茨城県北相馬郡守谷市大字大柏 937-2

平成7年5月13日 開館

平成31年4月 3年間の指定管理者による図書館等の運営を経て、市直営による運営を再開。

①施設概要

◇敷地面積 5,236㎡ ◇構 造 鉄筋コンクリート3階建て

◇建築面積 1,380㎡ ◇延床面積 3,523㎡

図書収容能力240,000冊（開架90,000冊 閉架150,000冊）

②事業概要比較

	守谷市	袖ヶ浦市
人口（令和3年）	69,206人	65,102人
開館日数（令和元年度）	345日	290日
貸出数（〃）	976,305冊	533,818冊
市民一人当たり個人貸出点数	14.5点	8.6点
予約・リクエスト数（〃）	212,234件	53,815件
レファレンス処理件数（〃）	8,481件	1,024件
団体貸出数（〃）	4,947冊	6,037冊

③主な行事

子ども読書まつり（4月23日から5月12日まで）

- ・武田美穂さん講演会
- ・ブックラリー「この本よんだよ！たくさん読んだで賞」（10冊以上読んでゴールした児童には、金メダルと賞状を授与）
- ・「ヴェルデ」※注によるワークショップ「こいのぼりをつくろう！」
- ・子どものための本の修理体験会（協力：「ボランティアメイト」）

図書館まつり（10月27日から11月10日まで）

- ・市川昌氏による美術講演会「ゴッホやモネが愛した江戸の浮世絵」
 - ・リサイクルブックフェア（有料・無料）
 - ・「ヴェルデ」による「自然のものを使った壁飾りを作ろう！」
 - ・アレクサンドラ&リーランドによる英語のおはなし会
 - ・育児コンシェルジュによるハロウィンの工作
 - ・「守谷の図書館を考える会」による手袋人形作り「ねずみ5にんきょうだい」ブックスタート
- 3～4か月児健診に合わせて読み聞かせや絵本のプレゼントなどを行うことにより、両親と赤

やんが肌のぬくもりを感じながら，本をとおして心を通わせ合うことを応援した。また，図書館の案内や参加した乳幼児の図書館利用カードを発行するなど，利用促進も図った。

※注 ヴェルデとは登録ボランティア

報告事項（３）袖ヶ浦市総合教育センターの移転について

１ 施設概要

○袖ヶ浦市総合教育センター

坂戸市場 1 3 9 3 番地 3

【構造等】 R C 造 3 階建て 延床面積 1,639 m² 敷地面積 1,458 m²

【取得経緯】

昭和 4 3 年度 昭和中学校として建設

昭和 6 1 年度 昭和中学校移転に伴い内部改修工事を実施し、総合教育センターとして使用開始

２ 総合教育センターの耐震性能

【耐震診断の結果】

大規模地震の際、倒壊または崩壊の危険が高い。

３ 移転先

○長浦おかのうえ図書館（３階）

蔵波 6 3 4 番地 1

４ 移転スケジュール

令和 3 年 3 月	総合教育センターのうち、のぞみ学級のみ中央図書館へ仮移転
8 月	ウグイスネットシステムサーバを本庁へ移転
令和 4 年 3 月まで	長浦おかのうえ図書館 3 階事務室を 2 階へ移転
令和 4 年 4 月	総合教育センター（のぞみ学級を含む）を長浦おかのうえ図書館 3 階へ移転

別綴じ参考資料

議題（２）令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

○第３次袖ヶ浦市立図書館サービス網計画（後期：平成２８年度～令和２年度）

サービス評価指標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

○令和２年度図書館事業の実施報告・・・・・・・・・・・・ ３

○令和２年度図書館事業一覧・・・・・・・・・・・・・・ ５

○令和２年度図書館利用状況・・・・・・・・・・・・・・ ８

○県内主要図書館の利用状況推移・・・・・・・・・・・・ １１

○公共図書館統計（市区町村立図書館）・・・・・・・・ １１

○県内公立図書館サービス指標（令和元年度）・・・・ １２

袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画【後期】サービス評価指標実績 太字:後期指標(細字:参考指標)

			62,390人	63,251人	63,704人	64,519人	65,075人	64,000人	←市人口	
サービス 内容	No.	サービス評価 指標	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R2年度 目標値	達成率 (R2年度実績/目 標値)	R2年度 備考
(1) 資料及び情報の収集、 提供等	①	★購入タイトル数／ 購入冊数(%)	83.0	85.5	85.2%	85.8%	86.2%	90	95.8%	
	・	図書購入タイトル数 (タイトル)	11,037	11,339	10,800	9,890	9,493	—	—	
	②	★蔵書冊数(所蔵図 書冊数)	678,517	688,359	698,317	701,931	706,278	710,000	99.5%	
	・	蔵書数(点)(図書以外 の資料を含む)	723,799	733,761	743,918	746,976	750,367	—	—	
	③	★市民一人当たり の蔵書冊数(冊)	10.9	10.9	11.0	10.9	10.9	11.1	98.2%	
	・	市民一人当たりの蔵 書数(点)(図書以外 の資料を含む)	11.6	11.6	11.7	11.6	11.5	—	—	
	④	袖ヶ浦市関係資料 の受入冊数(冊)	328	303	392	271	314	270	116.3%	
	⑤	年間利用者数(人)	147,201	146,180	148,243	140,856	77,507	155,000	50.0%	3/25-5/31・ 1/22-3/21臨 時休館
	⑥	市民新規登録者数 (人)	1,128	1,159	1,165	1,227	536	1,200	44.7%	同上
(2) 社会情勢の変化に対応したサー ビスの充実	⑦	市民登録率(%)	44.4	43.3	42.5	41.5	39.6	60.0	66.0%	同上
	⑧	資料貸出数(点)ー 市外含む総計	561,459	542,863	548,560	527,781	331,988	650,000	51.1%	同上
	⑨	市民一人当たりの 貸出数(点)	9.0	8.6	8.6	8.2	5.1	10.2	50.0%	同上
	⑩	一日あたりのホーム ページアクセス件数 (件/日)	253.1	251.2	255.6	324.1	374.0	315	118.7%	
	⑪	一ヶ月あたりのWeb 予約件数(件/月)	2,352.3	2,530.7	2,756.4	2,851.8	3,262.3	2,250	145.0%	
	・	メールマガジン登録 者数(人)	93	134	167	181	190	—	—	4-5月発行停 止
	・	ホームページ閲覧総 数(回/月)	341,644.8	409,220.7	595,455.9	505,560.8	352,818.8	—	—	
	⑫	学校図書館への対 応								
	-1	★団体貸出総冊数 (冊数/年)	3,885	3,034	3,270	3,416	2,360	3,000	78.7%	3/25-5/31・ 1/22-3/21臨 時休館
	・	団体貸出(冊)	3,185	2,784	2,368	3,166	2,087	—	—	同上
	・	団体貸出(件数)	122	115	131	129	96	—	—	同上
	・	読み物・絵本セット の貸出(冊数)	700	250	902	250	273	—	—	同上
	参考	開架図書の貸出(冊 数)	922	1,053	1,370	1,061	781	—	—	同上
	-2	出張おはなし会参 加者数(人)	4,583	3,492	6,013	6,371	2,495	5,000	49.9%	4-6月・1-3月 中止
⑬	レファレンス件数 (件)	851	916	1,139	1,024	417	800	52.1%	3/25-5/31・ 1/22-3/21臨 時休館	
	⑭	児童サービスの充 実								
	-1	★ブックスタートに おける本の配布率 (%)*	92.8	84.6	82.7	82.1	33.6	100	33.6%	4-3月中止、7 月-すこやか 相談で配布の み実施
	・	ブックスタート(回/ 年)* H25-26は「すきす き絵本タイム」	7	12	18	13	18	—	—	

サービス 内容	No.	サービス評価 指標	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R2年度 目標値	達成率 (R2年度実績/目 標値)	R2年度 備考
(3) 利用者に応じたサービス	-2	☆おはなし会参加者数[館内・館外の合計](人)	10,580	8,917	12,516	12,759	4,058	12,000	33.8%	4-6月・1-3月出張おはなし会中止、4-8月館内おはなし会中止、9-12月も回数・定員減、4-3月わらべうた・えほんのへや中止
	・	わらべうた・えほんのへや(回)	33	33	35	29	0	—	—	4-3月中止
	・	おはなし会・おはなしのじかん(回)	125	132	108	102	19	—	—	4-8月、1-3月館内おはなし会中止、9月以降も回数・定員減
	・	館外おはなし会(回)	326	282	366	349	136	—	—	4-6月、1-3月出張おはなし会中止
	・	子ども映画会(回)	24	23	22	19	0	—	—	4-3月中止
	-3	☆お薦め本リストの発行(回/年)	4	4	4	4	6	4	150.0%	
	⑮-1	青少年サービスの充実(YAお薦め本リストの発行)	1	1	1	1	1	1	100.0%	
	-2	青少年サービスの充実(ジュニアお薦め本リストの発行)	1	1	1	1	1	1	100.0%	
	⑯	高齢者サービスの充実								
	-1	☆大活字本の貸出冊数(冊/年)	4,419	4,254	4,123	3,863	2,553	5,000	51.1%	3/25-5/31・1/22-3/21臨時休館
	・	大活字本 所蔵タイトル数(タイトル)	1,107	1,152	1,195	1,229	1,287	—	—	
	・	名画鑑賞会(回)	53	44	46	37	5	—	—	4-8月・1-3月中止、9-12月も回数・定員減
	・	名画鑑賞会参加者数(人)	2,774	2,239	2,434	2,284	65	—	—	同上
	・	朗読CD 所蔵タイトル数(タイトル)	596	631	659	683	705	—	—	
	⑰	障がい者サービスの充実(宅配サービス 冊)	388	339	359	271	167	350	47.7%	4-5月中止、6月以降も回数減
	⑱	☆図書館ボランティアの育成(名)	59	71	74	71	77	70	110.0%	
	・	おはなし会ボランティア	23	21	21	20	25	—	—	
	・	朗読ボランティア	4	4	4	0	0	—	—	
	・	ブックスタートボランティア*	22	29	28	26	36	—	—	
	・	映画会ボランティア	9	12	13	10	10	—	—	
	・	展示ボランティア	—	4	6	5	4	—	—	
	・	その他のボランティア	1	1	2	10	2	—	—	
	⑲	来館者満足度(%)	76.8	未実施	78.2	未実施	77.7	75	103.6%	

令和２年度図書館事業の実施報告

１ 令和２年度図書館経営方針及び重点施策に基づく総括

① 事業の総括

図書館では、令和２年度経営方針に基づき、市民の多種多様、高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、市民に親しまれる書館運営に努めるとともに、「市民の書斎として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを目指し、５つの重点施策を推進しました。

② 重点施策に対する事業の成果

(1) 図書館資料の充実

- ・新刊図書の購入に加えて、郷土行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたことにより、開架書架の図書 310,704 冊に対して 11,796 冊（うち購入 11,012 冊）を受入し、約 3.5% 更新しました。新聞、雑誌等の逐次刊行物、ＣＤ、ＤＶＤ等の視聴覚資料及び調査研究用のマイクロフィルムやデータベースについて、継続的な収集と提供に努めました。また加入している視覚障がい者用のデータベースを活用し、図書館利用に障害のある人が利用しやすい資料を提供しました。
- ・地域の高齢化が進行する中で、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と医学関連の図書を重点的に収集しました。
- ・勤労者層の利用促進のため、長浦おかのうえ図書館にビジネスコーナーを設置し、ビジネスマナーや資料作成、課題解決に役立つ資料の充実を図りました。また、図書館のホームページ「資料案内」にも「ビジネスコーナー」を作成したほか、図書館日より、ツイッターで周知を行いました。１１月には市内３図書館全体で「一歩進んだ仕事術！」というテーマの特設コーナーをつくり、仕事に役立つ本の紹介に努めました。
- ・９月１０日～１６日の自殺予防週間にあわせ、中央図書館、長浦おかのうえ図書館において関連資料を集めた「自殺予防コーナー」を設置しました。
- ・長浦おかのうえ図書館では書架にピクトグラム（絵文字）による案内を掲示しました。
- ・「秋のトショロ月間」において、昨年と同様に「本のおたのしみ袋」を平川図書館と公民館図書室で実施しました。公民館図書室では初めての企画として「《ごちそうえほん大集合》食べてみたいごちそうに投票しよう！」を開催しました。
- ・民生委員が障がい者宅を訪問する際に、図書館からのチラシを渡してもらえるよう社会福祉協議会に依頼し、図書館の障がい者サービスの周知を行いました。

(2) 乳幼児期からの読書活動の推進

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和２年３月から５月まで休館しましたが開館後に「児童コーナー」や「幼児絵本・育児コーナー」の紹介ツイートをを行う等、利用喚起を図りました。館内おはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じて、９月から中央・長浦、１０月から平川で再開しました。また、出張おはなし会についても市内保育所、小中学校等で７月から再開しましたが、子ども映画会、わらべうたであそぼう、すきすき絵本タイムについては開催を見合わせました。
- ・おはなし会ボランティアを対象に、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行い、わらべうたと絵本の読み聞かせを中心としたスキルアップ講座を９月に行いました。また、

子育てや子どもの読書に関心のある市民も対象に加え、12月に「子どもの本の講座」を開催しました。

- ・中央図書館、長浦おかのうえ図書館で新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、年齢別の絵本セット「すぐに借りて帰りたい人のためのおすすめ絵本セット」を作りました。
- ・ブックスタートについては、会場となる4か月児教室が開催されず、ブックスタートが開催できないため、中央図書館だけでなく長浦おかのうえ図書館、平川図書館、すこやか相談の会場でもブックスタートパックの配布を行いました。また、ブックスタートボランティア養成講座を開催しました。
- ・「夏のトショロ月間」では、新型コロナウイルス感染予防対策のため集荷事業を実施できなかったが、全館で「おしえて！きみのすきな本」「絵本のおたのしみ袋」、平川図書館と各公民館図書室で「読書感想画を描こう！」を実施しました。また、中央図書館では昭和小学校生徒の授業成果物の展示を行いました。
- ・0歳から小学生の子どもを対象とするスタンプラリーを予定していた4月から5月の「こども読書週間」の前後の時期に臨時休館になったため、10月から11月にかけて行う「秋のトショロ月間」で、「秋のこどもスタンプラリー」として全館で開催しました。

(3) 高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

- ・大活字本や朗読CD等、高齢者が利用しやすい資料を積極的に収集しました。
- ・名画鑑賞会については新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインを作成し、感染対策を行うことにより9月より中央図書館・長浦おかのうえ図書館で再開しました。また、「秋のトショロ月間」では、映画会ボランティアが企画した「映画で旅しよう」、社会教育推進企画の「歌舞伎図書館座」を行いました。
- ・平川図書館に「介護支援コーナー」を設置し、介護予防・介護支援関係の図書の充実を図ったほか、「秋のトショロ月間」では県の金融広報アドバイザーを講師に迎え、高齢者を対象とした「暮らしに役立つ生活講座 今、気をつけたい！悪質詐欺について」を長浦おかのうえ図書館で開催しました。

(4) 情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

- ・ホームページのおすすめ図書のコーナーに「図書館員のおすすめ図書」として毎月1回図書館員個人のおすすめ本の紹介を掲載し、さらに令和元年度の電算システム更新で大きく変わったマイページについて説明ページを設けました。
- ・ホームページからの未所蔵リクエスト、レファレンスのメール申込みについて、ツイッター等でPRを行い、大きく申込件数が増えました。

(5) 図書館運営への市民参加の推進

- ・参加型の読書普及事業については新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行い、社会教育推進員、図書館ボランティアとの協働で、9月から事前予約制で再開しました。また図書館ボランティア総会を開催し、図書館ボランティア相互の交流を図りました。
- ・「秋のトショロ月間」では、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を十分に行い、図書館を利用するグループサークル等に学習成果を発表する場を提供しました。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで利用者アンケートを8月に実施しました。また、アンケートに記載していただいた意見のうち、主な意見について回答をQ&Aの形にまとめて、館内に掲示しました。

令和2年度図書館事業一覧

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
1	図書館協議会関係費 【193】	委員10名 会議3回うち書面会議1回 第1回「平年度図書館サービス状況点検・評価について」ほか（7月15日） 第2回「袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画について」（11月17日） 第3回書面会議 （1）図書館利用者アンケートの総括について （2）第4次図書館サービス網計画の策定について （3）令和2年度図書館事業の成果と課題について （4）令和3年度図書館経営方針及び重点施策について （3月16日協議）	9名 10名 10名
2	図書館運営事務費 【57,481】	開館日数 全館199日 新型コロナウイルス対応による臨時休館 ①R2.3.25～R2.5.31 ②R3.1.22～R3.3.21 団体貸出	個人貸出利用者数 77,507人 個人貸出点数 331,988点 市民1人当り貸出点数 （全資料）5.1点 延べ利用数 317団体 貸出冊数 3647冊
3	図書館資料購入費 【26,567】	通年	
	(1) 図書購入 (21,680)	中央 4,561冊 長浦 4,721冊 平川 1,203冊 根形 268冊 平岡 259冊 計 11,012冊 地図 0点	市民1人当り所蔵図書冊数（全資料） 11.5冊
	(2) 視聴覚資料購入 (375)	CD 98点 DVD 9点 計 107点	
	(3) マイクロフィルム購入 (240)	朝日・毎日・読売新聞（千葉版） 新千葉新聞 マイクロフィルム計11巻 千葉日報（DVD-ROM版）13巻	

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
	(4) 新聞・雑誌 購入 (2,794)	<新聞> 中央 12紙 長浦 10紙 平川 4紙 計 26紙 <雑誌> 78誌 55誌 24誌 157誌	
	(5) その他 (1,478)	官報情報データベース 法律情報データベース 図書データ作成、図書装備ほか	
4	電算処理事業 【14,503】	図書館電算システム一式賃借 メールマガジン配信（10回） 4月～5月は配信停止 公式ツイッター配信（随時） 新聞記事データベース（朝日・日経） 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	年間ホームページアクセス件数 トップページ 136,496件 総ページ 4,233,825件 年間ウェブ予約件数 39,147件
5	読書普及事業 【916】		
	(1) 児童奉仕推進事業 (45)	おはなし会（13回）	140人
		青空かみしばい劇場 おはなし会（10月24日）	53人
		クリスマスおはなし会（12月29日）	43人
		春休みおはなし会（3月26日）	8人
		つくってあそぼう！（3月26日）	8人
		出張おはなし会（15ヶ所・136回）	3,814人
		おはなし会ボランティアスキルアップ講座 2回	35人
		ブックスタートボランティア養成講座 3回	54名
		えほんのふくぶくろ（1月5日～1月19日）	390袋
	(2) ブックスタート (610)	ブックスタートパックの配布 すこやか相談に参加した市内在住1歳未満の子ども（保健センター18回） （中央、長浦、平川は随時）	181個
	(3) 子どもの本の講座 (101)	「この絵本をあの子へ」 翻訳家 小宮由 12月11日（金）	51人

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
	(4) 文芸講座 (81)	「謡曲「俊寛」」 (10月～11月・全4回) 和洋女子大学人文学部教授 佐藤勝明	81人
	(5) 資料展示 (7)	通年(5回) ・紙で作ろう！ ・うちの子の好きな本 ・秋のトショロ月間サークル展示 ・郷土博連携事業「ご飯の作り方」 ・「節分とおに」	
	(6) 視聴覚資料活用事業 (2)	名画鑑賞会・その他上映会 5回(中央2回・長浦4回) 上映後のシネマトークは中止 子ども映画会は中止	名画鑑賞会・その他 107人
	(7) 夏のトショロ月間 (18)	「図書館で夏をすずしく楽しもう！」 (7月16日～8月16日) ・「おしえて、きみの好きな本！」 「読書感想画を描こう」「図書室で「宝探し」」 ・絵本のお楽しみ袋 7月16日～8月16日 ・長浦おかのうえ図書館展示 通年(3回) わたしだけの「けむりのきしゃ」 図鑑の使い方 蔵波中学校美術部作品展 展示	601人
	(8) 秋のトショロ月間 (11)	「読書の秋！そうだ、図書館へ行こう！」 (10月27日～11月9日) ・秋のこどもスタンプラリー ・ごちそうえほん大集合 ・中庭イベント「青空かみしばい劇場」 ・暮らしに役立つ生活講座「今気をつけたい！悪質詐欺について」ほか	1,652人
	(9) 障がい者サービス (41)	・宅配サービス 利用登録10名	宅配 36回・167点

令和2年度図書館利用状況

(1)貸出点数

開館日数 全館199日

	中 央	長 浦	平 川	根 形	平 岡	合 計
一 般 書	85,286	88,904	16,703	6,789	3,592	201,274
児 童 書	48,233	40,353	7,291	3,763	1,927	101,567
雑 誌	7,192	7,745	1,578	1,798	373	18,686
視 聴 覚	2,880	6,431	750	77	323	10,461
個人合計	143,591	143,433	26,322	12,427	6,215	331,988
団体貸出						3,647
貸 出 総 数						335,635点

(2)利用者数等

袖ヶ浦市人口(令和3年3月31日現在)

65,075人

中 央	34,228人	市民1人当たりの貸出点数	5.1点
長 浦	31,751人	登録者総数	38,155人
平 川	6,079人	市民登録率 (登録者数 25,799人)	39.6%
根 形	3,524人	予約・リクエスト処理点数	52,485点
平 岡	1,925人	うち、未所蔵 4,067冊(購入 1,695冊・他館借用 2,372冊)	
		レファレンス処理件数	417件
		資料複写件数	260件 1,750枚
		ホームページアクセス件数	136,496件
		映画会参加者数(中央)	2回 28人
個人合計	77,507人	〃 (長浦)	4回 79人
		〃 (平川)	0回 0人
団体貸出	延べ 317団体	おはなし会参加者数(図書館)	19回 244人
		〃 (出張)	136回 3,814人
		障がい者への宅配による資料貸出	36回 167冊

(3)図書分類別蔵書冊数

(令和3年3月31日現在)

	一般書	児童書	合 計
総 記	20,410	1,754	22,164
哲 学	18,072	756	18,828
歴 史	52,626	5,497	58,123
社会科学	90,562	5,154	95,716
自然科学	38,021	15,094	53,115
工 学	56,729	5,209	61,938
産 業	22,169	3,170	25,339
芸 術	49,024	6,160	55,184
語 学	9,188	1,009	10,197
文 学	186,086	47,208	233,294
絵 本	—	70,738	70,738
紙芝居	—	1,642	1,642
合 計	542,887	163,391	706,278
合 計	1,065,364	325,028	1,390,392
合 計	2,112,656	649,300	2,761,956

図書以外の資料

雑誌	21,735冊
カセットテープ	1,992点
レコード	291点
コンパクトディスク	10,247点
ビデオテープ	3,781点
レーザーディスク	1,278点
DVD	1,468点
マイクロフィルム	1,485巻
地図	1,812点
合 計	44,089点

資料総合計

750,367点

(市民1人当たり 11.5点)

(市民1人当たり 2.3点)

(4) 令和2年度ベストリーダー10

一般書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	クスノキの番人	東野 圭吾	99	8
2	希望の糸	東野 圭吾	88	7
3	流浪の月	凧良 ゆう	75	5
4	危険なビーナス	東野 圭吾	74	7
5	少年と犬	馳 星周	74	5
6	清明	今野 敏	71	5
7	きたきた捕物帖	宮部 みゆき	67	5
8	ライオンのおやつ	小川 糸	62	5
9	落日	湊 かなえ	62	5
10	流人道中記 上	浅田 次郎	61	4

児童書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん	201	25
2	わにわにのごちそう	小風 さち	157	20
3	サンドイッチサンドイッチ	小西 英子	127	19
4	おべんとう	小西 英子	112	16
5	はらぺこあおむし	エリック＝カール	111	16
6	バムとケロのにちようび	島田 ゆか	108	12
7	くだもの	平山和子	105	37
8	おばけのてんぷら	せなけいこ	97	9
9	がたんごとん	安西水丸	94	29
10	バムとケロのもりのこや	島田 ゆか	94	11

(5) 令和2年度予約ベスト10

一般書

順位	書名	著者	予約回数	複本数
1	クスノキの番人	東野 圭吾	112	8
2	流浪の月	凧良 ゆう	103	5
3	少年と犬	馳 星周	97	5
4	カケラ	湊 かなえ	85	5
5	ブラックショーマンと名もなき町の殺人	東野 圭吾	78	6
6	家族じまい	桜木 紫乃	74	5
7	きたきた捕物帖	宮部 みゆき	58	5
8	心淋し川	西條 奈加	57	5
9	流人道中記 上	浅田 次郎	54	4
10	元彼の遺言状	新川 帆立	52	3
10	流人道中記 上	浅田 次郎	52	4

児童書

順位	書名	著者	予約回数	複本数
1	あつかったらぬげばいい	ヨシタケ シンスケ	22	1
1	ふしぎ駄菓子屋銭天堂(1)	廣島 玲子	22	1
3	もしものせかい	ヨシタケ シンスケ	17	1
4	あるかしら書店	ヨシタケ シンスケ	16	1
5	バムとケロのもりのこや	島田 ゆか	16	11
6	おしりたんてい ラッキーキャットはだれのてに!	トロール	15	1
7	たのしいな! 東京の電車・新幹線	柏原 治	14	1
8	りんごかもしれない	ヨシタケ シンスケ	14	2
9	バムとケロのおかいもの	島田 ゆか	13	12
10	ざんねんないきもの事典	今泉 忠明	12	1
10	なぜ僕らは働くのか	池上 彰	12	1

(6) 令和2年度蔵書点検結果

令和3年3月31日現在

中 央	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R02～	R01～	H30～	H29～	H28～
①	312,627点	245点	54点	110点	37点	33点	11点
	不明比率	0.08%	0.02%	0.04%	0.01%	0.01%	0.00%

長 浦	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R02～	R01～	H30～	H29～	H28～
②	351,397点	158点	15点	80点	42点	9点	12点
	不明比率	0.04%	0.00%	0.02%	0.01%	0.00%	0.00%

平 川	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R02～	R01～	H30～	H29～	H28～
③	47,795点	130点	9点	18点	47点	10点	46点
	不明比率	0.27%	0.02%	0.04%	0.10%	0.02%	0.10%

根 形	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R02～	R01～	H30～	H29～	H28～
④	16,454点	12点	6点	6点	0	0	0
	不明比率	0.07%	0.04%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%

平 岡	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R02～	R01～	H30～	H29～	H28～
⑤	16,625点	11点	8点	2点	点	1点	点
	不明比率	0.07%	0.05%	0.01%	0.00%	0.01%	0.00%

学校用	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R02～	R01～	H30～	H29～	H28～
⑥	5,469点	31点	0	0	0	点	31点
	不明比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.57%

合 計	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
①～⑥計	750,367点	587点	92点	216点	126点	53点	100点
	不明比率	0.08%	0.01%	0.03%	0.02%	0.01%	0.01%

※蔵書点数(在架資料点数)は、除籍予定の資料を含まないで算出。

※点検不明年度から5年を経過した資料は、6年目に除籍。(令和2年度実績135点)

(7) 令和2年度長期延滞資料督促実績 (R01. 10. 1～R02. 8. 31)

年間実績	累計	
a 督促電話人数	241人	
b 電話による返却人数	164人	電話による返却率 b/a
c 督促ハガキ送付人数	77人	

※R3.1.22～3.21の期間が臨時休館中だったことから、年度末のハガキによる督促は行わなかった。

県内主要図書館の利用状況推移

「千葉県図書館2020」(千葉県公共図書館協会発行)より

	人口(「千葉県毎月常住人口調査月報」による)			個人貸出冊数			登録者数						登録者数は自治体内のみ
				H29年度	H30年度	R元年度	H29年度		H30年度		R元年度		
	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1				登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	
袖ヶ浦	62,161	62,614	63,429	542,863	548,560	527,781	27,385	44.1	27,061	43.2	26,760	42.2	○
市原	271,665	270,944	269,406	1,430,156	1,352,982	1,269,243	136,933	50.4	140,181	51.7	143,002	53.1	市外含む
木更津	135,162	135,372	135,615	408,335	404,831	368,549	79,603	58.9	81,155	59.9	82,833	61.1	市外含む
君津	83,633	82,774	81,951	733,622	713,663	591,725	32,001	38.3	31,286	37.8	30,691	37.5	市外含む
茂原	88,324	87,655	86,938	278,956	249,193	245,873	17,084	19.3	16,821	19.2	16,625	19.1	市外含む
千葉	975,669	978,158	980,824	3,791,419	3,659,541	3,526,700	249,853	25.6	245,275	25.1	237,527	24.2	○
浦安	169,083	170,485	171,209	1,926,558	1,733,663	1,394,341	44,516	26.3	41,939	24.6	32,904	19.2	○
市川	491,214	494,161	497,268	2,596,814	2,512,792	2,219,273	109,805	22.4	105,128	21.3	100,518	20.2	市外含む
成田	131,770	132,244	132,522	1,248,284	1,219,937	1,161,421	45,288	34.2	44,619	33.7	43,062	32.5	○
白井	62,374	62,157	61,938	468,164	461,117	437,246	20,133	32.3	19,555	31.5	18,414	29.7	市外含む
佐倉	171,686	171,103	170,322	1,323,298	1,311,617	1,172,629	115,182	67.1	92,301	53.9	78,157	45.9	○

※貸出冊数は視聴覚資料等を含む。※登録者数は累計の数値。袖ヶ浦市では毎年10年間未利用の登録者を年度末に除籍している。

公共図書館統計(市区町村立図書館)

「図書館年鑑2020」(日本図書館協会発行)より

年度	図書館総数	専任職員数(人)	年間収集冊数(万冊)	個人貸出数(万点)	資料費決算額(億円)	は、過去10年間の最大値	〈人口6万人以上8万人未満の市区〉			
							順位	自治体名	個人貸出数(千点)	
2019	3,226	8,330	1,459	66,851	258.37	*貸出点数は、視聴覚資料を含む *資料費は、経常的経費	1	笠間市(茨城県)	1,215	袖ヶ浦市蔵書冊数：1位 資料費決算額：10位 予約受付件数：20位
2018	3,219	8,482	1,505	66,852	258.15		2	守谷市(茨城県)	985	
2017	3,215	8,691	1,532	67,421	256.62		3	千代田区(東京都)	935	
2016	3,203	8,869	1,542	68,563	257.84		4	三木市(兵庫県)	927	
2015	3,182	8,955	1,515	67,260	254.05		5	京田部市(京都府)	876	
2014	3,166	9,345	1,620	67,677	257.20		6	多賀城市(宮城県)	739	
2013	3,168	9,583	1,641	69,267	256.81		7	福津市(福岡県)	725	
2012	3,154	9,999	1,744	69,628	261.68		8	白河市(福島県)	707	
2011	3,129	10,072	1,666	69,705	265.38		9	恵庭市(北海道)	683	
2010	3,107	10,413	1,683	69,218	278.13		10	塩尻市(長野県)	662	
							19	袖ヶ浦市(千葉県)	549	
							平均	109市区	396	

(千葉県公共図書館協会
「千葉県の図書館 2020」より)

(注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた。
2 人口の数値は「千葉県毎月常住人口調査月報」より(令和2年4月1日現在)
3 市町村平均・市町村合計欄の数値は、39市町村の平均・合計である。
4 図書費には臨時的経費のうち図書費を含む。
5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による。
6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある。

【7月15日号広報そでがうら】

夏休みに学習スペースがつかえます

夏休みに児童、生徒及び学生が利用できる学習スペースを、公民館と図書館に用意します。席の数に限りがあるため、譲り合いなどして気持ちよく利用しましょう。

新型コロナウイルス感染症の対策のため、受付をして、熱を測ります。感染の状況によって時間の制限をなくしたり、施設の利用ができなくなることもあります。

期間 7月17日（土）～8月26日（木）

※中央図書館と長浦公民館は、夏休み期間以外も使えます。

場所・利用日時

場所	利用日時	席数
中央図書館	図書館開館日 午前9時30分～午後5時（利用は2時間以内）	18
長浦公民館	毎日 午前9時～閉館15分前（利用時間の制限はありませんが、席を譲り合ってください。）	6
根形公民館	ロビー：毎日 図書室：火曜日・木曜日 午前9時30分～午後5時（利用は2時間以内）	3
平岡公民館	ロビー：毎日 図書室：火～金曜日 午前9時30分～午後5時（利用は2時間以内）	3
平川図書館 (平川公民館3階)	図書館開館日 午前9時30分～午後7時（利用は2時間以内）	5

* 小学生の利用は、各施設とも午後5時まで

* 問い合わせ先はそれぞれの施設

【夏休み前に図書館・図書室で用意すること】

- ・自習スペースの場所に掲示をする。
- ・自習スペースとは別に調べ学習用の席を確保し、その旨を掲示する。
- ・中央図書館と平川図書館の丸テーブル（各2台）、根形公民館と平岡公民館の閲覧席（各2席）に感染予防のパーテーションを設置する。

【特記事項】 令和３年度根形及び平岡公民館図書室の運営について

令和３年度の公民館図書室会計年度任用職員報酬等が減額となったことから、市内３図書館２公民館図書室の電算システムと物流配送による蔵書のネットワークの稼働が可能となる範囲内で、専任職員の配置日数を減じ、隔日とした。

令和３年度予算額	公民館図書室運営事務費	２館分	2,325,660 円
(削減金額)	根形・平岡公民館運営事務費	２館分△	2,186,310 円)

- 1 利用状況を鑑み、開館時間等は現状のままとし、専任職員の配置を原則として週３日とする。ただし、公民館まつり等の事業により変更となる場合もある。

根形公民館図書室 水曜、金曜、日曜

平岡公民館図書室 火曜、木曜、土曜

2 理由

根形・平岡公民館図書室においても、専任職員によるサービスは半減するが、現状の図書館ネットワーク内での資料提供が可能であり、２図書室の資料についても３図書館の利用者への予約資料の提供が可能となり、有効活用を図ることができる。

隔日となる出勤日において、図書室担当職員が前日に返却された資料の管理、予約の入った資料の他館への回送等を行う。即日処理はできないため提供までの日数はかかり、また問い合わせ等の対応ができる曜日も限定されるが、地域住民の利用への大幅なサービスの低下は回避できる。専任職員が不在となる曜日については、公民館職員による番号管理による貸出し、返却資料の預かり、予約資料の受け渡し等を行う。

3 図書室担当者不在の曜日の図書室の運営について

平日においては公民館職員が、土日祝日においては公民館管理人が以下の業務を行う。

① ９時３０分の開室及び１７時の閉室

② 資料の貸出手続き

③ 返却資料の受け取り

④ 予約資料の受け渡し

* 予約資料の割り当て、新規登録、インターネット端末の利用の受付、視聴覚資料の館内視聴、資料の複写、読書相談、調べ学習対応は行わない。

7月

根形公民館図書室 専任職員在室日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 ◎	3 ◎
4 ◎	5 定期休館日	6	7 ◎	8	9 ◎	10
11 ◎	12 定期休館日	13	14 ◎	15	16 ◎	17
18 ◎	19 定期休館日	20	21 ◎	22	23 ◎	24
25 ◎	26 定期休館日	27	28 ◎	29	30 館内整理日	31 ◎

専任職員在室日：◎

開室時間：午前9時30分から午後5時

専任職員不在の日は、下記のサービスのみ行います。

◆図書室の棚にある資料の貸出

◆返却図書の預かり

◆貸出準備のできた予約資料の貸出(他市町村図書館からの借用資料は除く)

その他、新規登録、予約・リクエスト、インターネット用端末の利用などのサービスは、専任職員在室日にご利用ください。

7月

平岡公民館図書室 専任職員在室日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1 ◎	2	3 ◎
4	5 定期休館日	6 ◎	7	8 ◎	9	10 ◎
11	12 定期休館日	13 ◎	14	15 ◎	16	17 ◎
18	19 定期休館日	20 ◎	21	22 ◎	23	24 ◎
25	26 定期休館日	27 ◎	28	29 ◎	30 館内整理日	31 ◎

専任職員在室日：◎

開室時間：午前9時30分から午後5時

専任職員不在の日は、下記のサービスのみ行います。

◆図書室の棚にある資料の貸出

◆返却図書の預かり

◆貸出準備のできた予約資料の貸出(他市町村図書館からの借用資料は除く)

その他、新規登録、予約・リクエスト、インターネット用端末の利用などのサービスは、専任職員在室日にご利用ください。